

令和4年度山形県病院薬剤師通常総会

一般社団法人山形県病院薬剤師会（羽太光範会長・山形済生病院）は令和4年5月21日（土）、山形テルサ（山形市）において、令和4年度一般社団法人山形県病院薬剤師会通常総会を開催しました。羽太会長挨拶に続いて、早速、議長に小倉次郎氏（山形大学医学部附属病院）を、副議長に相馬直記氏（三友堂リハビリテーションセンター）を選出し、議事に入りました。

協議は、令和3年度事業報告、同決算報告、令和4年度活動計画案、同予算案が審議され、執行部の原案通り満場一致で承認されました。また、理事退任に伴う理事選任について、退任される理事（敬称略）高梨伸司、荒井浩一、三須栄治、鈴木薫、石山ふみに代わり、新理事（敬称略）長岡一郎、芦野均、松田圭一郎、海老名勇、水口真知が、執行部の満場一致で承認されました。名誉会員の推薦について、前山形市立病院済生館薬局長である荒井浩一氏（60歳）について、執行部の原案通り満場一致で承認されました。

ひき続き、令和3年度薬事功労者厚生労働大臣表彰を受賞された、和田幸治氏、令和3年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰を受賞された、大石玲児氏（三友堂病院）、令和3年度薬事功労者山形県知事感謝状を受賞された、西村孝一郎氏（山形市立病院済生館）が紹介され、大石玲児氏、西村孝一郎氏が挨拶されました。また、永年会員（25年）表彰者について、対象となられた先生が紹介されました。

令和4年度一般社団法人山形県病院薬剤師会通常総会

開催日時：令和4年5月21日(土) 15時30分～16時30分

場 所：山形テルサ 大会議室

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事
 - 1) 協議事項
 - (第一号) 令和3年度事業報告
 - (第二号) 令和3年度決算報告
 - (第三号) 令和3年度会計監査報告
 - (第四号) 令和4年度活動計画
 - (第五号) 令和4年度活動予算書
 - (第六号) 理事退任に伴う理事選任について
 - (第七号) 名誉会員の推薦について
5. 表 彰
6. そ の 他
7. 閉会の辞

令和3年度事業報告

▼会 員 数

令和4年3月31日現在

正 会 員	384名
特別会員	20名
合 計	404名

名誉会長	1名
名誉会員	23名
有功会員	1名
顧 問	1名

準 会 員	11名
賛助会員	61社

<ブロック別・会員数>

	庄 内	村山最上	山 形	置 賜	総 数
施 設 数	12	17	18	14	61
会員合計	82名	59名	182名	61名	384名

▼総会・会議 等

- 2021年04月23日(金) 第1回常務理事会
- 2021年04月25日(日) 令和3年度東北調整機構総会
- 2021年04月27日(火) 第1回理事会
- 2021年05月06日(木) 第2回理事会
- 2021年05月22日(土) 第3回理事会
- 2021年05月22日(土) 令和3年度一般社団法人山形県病院薬剤師会通常総会
- 2021年06月08日(火) 第1回事務局会議
- 2021年06月19日(土) 第63回日本病院薬剤師会定期総会
- 2021年07月01日(木) 東北ブロック学術大会第1回実行委員会
- 2021年07月30日(金) 第4回理事会
- 2021年10月08日(金) 第1回山形県薬県病薬役員懇談会
- 2021年10月30日(土) 地方連絡協議会
- 2021年11月14日(日) 第1回山形県病院薬剤師会学術大会
- 2021年11月18日(木) 東北ブロック学術大会第2回実行委員会
- 2021年12月01日(水) 第2回常務理事会
- 2021年12月06日(月) 第5回理事会
- 2022年01月28日(金) 東北ブロック学術大会第3回実行委員会
- 2021年02月26日(土) 第64回日本病院薬剤師会臨時総会
- 2022年03月07日(月) 第3回常務理事会
- 2022年03月14日(月) 第6回理事会

▼研修会 令和3年度研修会開催一覧（主催・共催・後援）

- 2021/05/27(木) 2021年度山形県病薬バイオシミラー Webセミナー
 2021/05/29(土) 第2回輸液セミナー in山形
 2021/06/26(土) 第16回ステップアップ研修会
 2021/06/27(日) 2021年第1回山形県がん化学療法セミナー
 2021/07/02(金) 薬剤師がん治療セミナー in山形
 2021/07/07(水) 不眠症ケアWEBセミナー
 2021/07/08(木) 2021年度山形県病院薬剤師会 精神科領域部門講演会
 2021/07/16(金) 第20回山形COPD研究会
 2021/08/01(日) 2021年第2回山形県がん化学療法セミナー
 2021/08/07(土) 第11回庄内薬剤師糖尿病Web講演会
 2021/08/27(金) 病院薬剤師研究推進セミナー in山形
 2021/10/02(土) 2021年第3回山形県がん化学療法セミナー
 2021/10/06(水) 山形県病院薬剤師WEBセミナー
 2021/10/16(土) 第3回輸液セミナー
 2021/10/20(水) やまがたプライマリ・ケアセミナー
 2021/10/28(木) U40－令和3年度薬剤師研修会
 2021/11/11(木) Pharmacist Diabetes Seminar in YAMAGATA
 2021/11/20(土) YAMAGATA Pharmacy Director Seminar 2021
 2021/11/21(日) 令和3年度第1回山形県病院薬剤師会感染対策講習会
 2021/11/24(水) 山形県病院薬剤師会WEBセミナー（潰瘍性大腸炎）
 2021/11/30(火) 山形県病院薬剤師会講演会（がん患者に寄り添う）
 2021/12/03(金) 医療従事者のための片頭痛Webセミナー
 2021/12/04(土) 2021年度第4回山形県がん化学療法セミナー
 2021/12/08(水) 神経疾患Webセミナー
 2022/01/27(木) やまがた薬薬連携セミナー
 2022/02/03(木) 2021年度第1回山形県周産期薬物療法セミナー
 2022/02/06(日) 2021年第5回山形県がん化学療法セミナー
 2022/02/17(木) 山形県病院薬剤師会 webセミナー（糖尿病）
 2022/03/12(土) らくらく抗菌薬セミナー2
 2022/03/19(土) Yamagata Pharmacist Web Seminar ～薬剤師の未来を考える～

計30回

▼委員会活動報告

委員会名	がん・緩和領域部門
委員 ◎：委員長	◎鈴木 薫、芦埜 和幸、金野 昇、阿部 和人、茂木 佳子、小林 由佳、 齋藤 智美、松田圭一郎、西村 雅次、安部 一弥、貴田 清孝
我々を取り巻く状況と課題	次々と発売される新薬、多種多様なレジメンに対してより専門的な知識が求められている。さらに、R 2. 4「連携充実加算」新設やR 3. 8 保険薬局における「専門医療機関連携薬局」認定制度発足など、がん領域における薬業連携の重要性が指摘されている。薬学的知見に基づく指導を行いがん薬物療法の質を確保するための人材育成及び薬業連携の推進が課題と思われる。
活動内容	<p>1. 委員会の開催</p> <p>(1) 第1回 R 3. 9. 1 (水) 17:30～18:30 web会議 (会長、委員10名)</p> <p>①令和3年度事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県がん化学療法セミナー 5回開催 (すべてオンライン形式) ・日病薬がん領域、東北次世代がんプロ養成プラン講座及び日本緩和医療薬学会認定講習 5回開催 ・薬剤師のためのがん薬物療法講座 (県立中央病院主催 第4回) (都道府県がん診療連携拠点病院研修事業) ・日本医療薬学会認定講習会 (県立中央病院主催) <p>②令和3年度がん化学療法セミナーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 R 3. 6 <胃がん> (大鵬) 担当：鶴岡市立荘内病院 日本海総合病院 ・第2回 R 3. 8 <膀胱がん> (ヤクルト) 担当：公立置賜総合病院 米沢市立病院 ・第3回 R 3.10 <緩和領域> (第一三共) 担当：東北中央病院 県立新庄病院 ・第4回 R 3.12 症例検討会 担当：県立中央病院 活動メンバー ・第5回 R 4. 2 <尿路上皮がん> (メルクバイオフーマ) 担当：山形大学医学部附属病院 <p>③活動メンバーについて</p> <p>R 3. 7.30理事会において、Y-OPNの活動は認められず、資格を問わないメンバー構成とし、部門委員会内の活動チームとして認められた。公募により16名登録した。随時入会可能とし、年度末に次年度への参加継続の意向を確認する。メーリングリストの管理者は済生館松田先生。</p> <p>④症例検討会 (グループディスカッション) 練習会について</p> <p>練習会担当の済生病院西村先生、済生館松田先生に作成していただいた企画案をもとにスケジュールの確認、役割分担、検討課題について協議した。</p> <p>(2) 第2回 R 3.12. 9 (木) 17:45～18:45 web会議 (委員8名)</p> <p>①日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会 がん部門シンポジウムテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーガナイザー2名のうち1名は山形で担当。鈴木部門長が退職となるため済生館松田先生へ依頼、もう1名は東北医科薬科大の岡田先生へ依頼した。 ・がんにおける地域医療連携を取り上げることになった。内容としては、まだまだ進んでいない「連携充実加算」、これから検討していかなければならない「専門医療機関連携薬局」への対応 (研修受け入れ側として) とする。 <p>(3) 第3回 R 4. 2.24 (木) 17:45～18:45 web会議 (委員11名)</p> <p>①令和3年度がん・緩和領域部門活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県がん化学療法セミナー 5回開催 (すべてWeb形式) ・日病薬がん領域、東北次世代がんプロ養成プラン講座及び日本緩和医療薬学会認定講習 5回開催 ・薬剤師のためのがん薬物療法講座 (県立中央病院主催 第4回) (都道府県がん診療連携拠点病院としての研修会) ・日本医療薬学会認定講習会 (県立中央病院主催 第4回)

<p>活動内容</p>	<p>②令和4年度がん・緩和領域部門活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業について 山形県化学療法セミナー（5回） 東北次世代がんプロ養成プラン講座（5回） 日本緩和医療薬学会認定講習（5回） 薬剤師のためのがん薬物療法講座 （県中主催：都道府県がん診療拠点病院としての研修会） 日本医療薬学会認定講習会（県立中央病院主催） ・化学療法セミナーの開催について 座学4回、症例検討会（グループディスカッション）1回とし、Web形式で開催。ただし、症例検討会はコロナの状況により集合形式も考慮。 ※今後の症例検討会の企画担当については、県中+2施設とする。2施設は輪番とする案が出され、来年度実施していく中で検討する。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の日本緩和医療薬学会認定講習シール申請状況について 第1回：8名 第2回：県内6名・県外1名 第3回：8名 第4回：7名 第5回：6名 <p>2. 山形県がん化学療法セミナーの開催（web形式）</p> <p>(1) 令和3年度実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 R 3. 6.27(日) 13:00～15:00 <胃がん>（大鵬） 担当：鶴岡市立荘内病院 日本海総合病院 参加者：58名 ・第2回 R 3. 8. 1(日) 13:00～15:00 <膵がん>（ヤクルト） 担当：公立置賜総合病院 米沢市立病院 参加者：55名 ・第3回 R 3.10. 2(日) 15:00～17:00 <緩和領域>（第一三共） 担当：東北中央病院 県立新庄病院 参加者：61名 ・第4回練習会 R 3. 9.18(土) 14:00～15:00 委員7名、活動メンバー1名 ・第5回 R 3.12. 4(土) 14:00～17:00（日本医療薬学会認定講習会）症例検討会（グループディスカッション） 担当：県立中央病院・練習会企画担当（松田先生・西村先生） 活動メンバー（7名協力） 参加者：31名（保険薬局1名） ・第6回 R 4. 2. 6(日) 13:00～15:00 <尿路上皮がん>（メルクバイオフーマ） 担当：山形大学医学部附属病院 参加者：38名 <p>(2) 令和4年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 7月 血液がん（共催：東和薬品） 担当：鶴岡市立荘内病院、日本海総合病院 ・第2回 8月 胃がん（共催： Bristol/小野薬品） 担当：公立置賜総合病院、米沢市立病院 ・第3回 10月 肝がん（共催：武田薬品） 担当：山形大学医学部附属病院 ・第4回 12月 症例検討会（グループディスカッション） 担当：県立中央病院・企画担当（松田先生・西村先生）・ 活動メンバー（※日本医療薬学会認定講習会） ・第5回 2月 緩和領域（共催：塩野義製薬） 担当：東北中央病院、県立新庄病院
<p>反省 来年度に 向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・座学からの脱却を目指し、初の試みでWeb形式による症例検討会を開催した。活動メンバーの皆様にもご協力いただき、大きなトラブルなく終了することができた。今後、より多くの会員が参加しやすい内容の検討ならびにファシリテーターの養成を行っていく。 ・がん領域における薬業連携の重要性に鑑み、化学療法セミナーへの保険薬局の参加も募っていく。

委員会名	専門領域部会 感染制御部門
委員 ◎：委員長	◎西村孝一郎、相馬 直紀、五十嵐 徹、田中 大輔、平 浩幸、田中 久美 加藤 容子、佐藤 智也、石山 晶子、大熊 良和、倉本美紀子
我々を取り巻く状況と課題	新型コロナウイルス感染症への対応が継続され、「感染対策は日常から」との言葉が実感された一年であった。2022年の診療報酬改定では感染対策に対する加算の対象が診療所まで拡大され、地域での取り組みがより重要になる。薬剤師を含めた医療従事者全体で感染対策について考えていかなければならない。
活動内容	令和3年度第1回感染制御部門委員会 令和3年10月13日(水) Web開催 令和3年度第1回山形県病院薬剤師会感染対策講習会 令和3年11月21日(日) Web開催 【講演1】「感染症領域への薬剤師の関わり方～ICT・ASTで活躍する薬剤師を目指す～」 大館市立総合病院 薬剤科 薬剤部長 感染制御室 副室長 中居肇先生 【講演2】「新型コロナウイルス感染症－現状と対応－」 東北医科薬科大学 医学部 感染症危機管理地域ネットワーク寄附講座 吉田真紀子先生 令和3年度第2回山形県病院薬剤師会感染対策講習会 らくらく抗菌薬セミナー2 令和4年3月12日(土) Web開催 【講演1】「今更聞けない？抗菌薬の基礎知識Part II」 清永会 矢吹病院 薬剤科 加藤容子先生 【講演2】「薬剤師が担うAST専従」 済生会 山形済生病院 薬剤部 石山晶子先生
反省 来年度に向けて	各病院における新型コロナウイルス感染症への対応が中心となり、十分な活動ができたとは言えない。今後も、この状態が続くと考えられるが、感染症は新型コロナウイルスによるものだけではない。全ての病院に感染制御担当の薬剤師が存在すると思われる。Infection Control, Antimicrobial Stewardshipについて情報交換や連携ができる体制が構築できればと思う。

委員会名	精神科部門
委員 ◎：委員長	◎渡辺 真理、青木 俊人、池田 光、齋藤 寛、鈴木 聖子、中澤 芳文
我々を取り巻く状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国内2番目のオレキシン受容体拮抗薬が2021/5/31より投与制限解除となり、睡眠薬の適正使用について、各施設が取り組んでいる。 ・アルコール依存症 飲酒量低減薬のセリンクロを処方できる医師には、アルコール依存症に係る適切な研修を修了する必要がある、適切な研修に準じたものとして、「アルコール依存症の診断と治療に関するe-ランニング研修」が該当することがR3年10月に通知され、時間的・料金的に研修を受けやすくなった。 ・医薬品の出荷中止・出荷調整が続き、精神科各施設でも医薬品の調達には日々苦労しており、メーカーの変更、剤形の変更、処方規格の変更、先発品への変更、ジェネリック医薬品と先発品の両立などへの対策を取っている。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科部門講演会（Web）2021年7月8日開催 講演1.「双極性障害大うつ病エピソードにおける新規抗精神病薬の役割」 演者：医療法人社団 名取駅東口クリニック 院長 栗田征武先生 講演2.「統合失調症治療薬の新しい選択」 演者：一般財団法人みやぎ静心会 国見台病院 副院長 小田康彦先生 ・精神科部門委員会（Web）2021年12月22日開催 <ul style="list-style-type: none"> ①2021/7/8に開催した講演会の反省 ②医薬品の出荷調整・出荷停止に対する各施設の対応 ③睡眠薬の適正使用について ④セリンクロの適正使用について ⑤精神科薬物療法認定研修会について ⑥コロナウイルスに対する感染対策関連 ⑦日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会 2022/6/25～26について ⑧おくすり手帳へのシールの添付状況 ・日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会 シンポジウム開催の準備 座長・シンポジニストの選出 テーマ「精神科アウトリーチ支援の実現に向けて～薬剤師の有用性を見出そう～」
反省 来年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・Webでの研修会や委員会の開催を通して、各施設の方と意見交換ができた。 ・日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会 シンポジウム開催を通し、精神科薬剤師の在り方を考えていきたい。

委員会名	周産期部門
委員 ◎：委員長	◎志田 敏宏、畠山 史朗、百瀬 里穂、植村奈緒瑠、武田 桐佳 遠藤 清香、畠山 瑞季、東海林千裕
我々を取り巻く状況と課題	<p>妊婦授乳婦に対する薬物療法において、添付文書の項目に「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」が設けられているが、妊婦授乳婦に対して使用禁忌と読み取れる医薬品が多く、「禁忌」と読み取ったことにより安易に人工妊娠中絶が選択される可能性が報告されている。本来であれば、常用投与量との比較と、これまでの観察研究とのデータに基づいて、薬物安全性を検討する必要がある。このような添付文書の側面は、場合によっては、母子双方にとって安全かつ適切な薬物療法の実施を妨げる可能性がある。</p> <p>我々薬剤師は添付文書の限界を理解した上で、最新のエビデンスを適切に評価し、次世代への有害作用を考慮した薬物療法を担い、母子の健康に貢献していく必要がある。そのために、妊娠・授乳期における薬物療法に関する知識、技術、倫理観を習得する必要がある。</p>
活動内容	<p>【委員会開催】 第1回周産期委員会会議 日 時：2021年9月14日 17時15分～ 開催形式：WEB 協議事項 ・委員の変更について ・第11回日本病院薬剤師回東北ブロック学術大会について ・周産期の薬物療法評価に活用できるガイドラインリストについて ・今後の研究活動について</p> <p>【研修会開催】 2021年度 第1回山形県周産期薬物療法研修会を実施 日 時：2021年2月3日 18時00分～20時00分 開催形式：WEB 演 者：長谷川 あゆみ 先生（埼玉医科大学総合医療センター） 丹 沢 彩 乃 先生（国立成育医療研究センター）</p> <p>2022年度 周産期薬物療法研修会の企画を開始し、共催メーカーと調整している。</p> <p>【研究】 研究課題「山形県における妊婦・授乳婦への医薬品情報提供における薬剤師の関与状況の調査」の研究計画を策定し、山形大学医学部倫理委員会の承認を得た。次年度にアンケート調査を実施し、学会発表、論文執筆を予定している。</p> <p>【その他】 随時、メーリングリストを用いてメール会議を実施。</p>
反省 来年度に向けて	周産期に活用できる情報（ガイドライン）のデータベース作成予定であったが、情報集約に時間を要しており、完成には至らなかった。次年度中の完成を目指す。

委員会名	糖尿病部門領域
委員 ◎：委員長	◎鎌田 敬志、八楯 雅昭、小関 環、佐東 未咲、青木 梢太
我々を取り巻く状況と課題	<p>近年、食事内容の欧米化や運動不足による体重増加と肥満により、インスリン抵抗性の悪化が危惧されており、平成28年国民健康・栄養調査報告によると、糖尿病が強く疑われる人は全国で1,000万人に増加し、糖尿病の可能性を否定できない人（糖尿病予備群）との合計は2,000万人になり、国民の5人に1人は糖尿病の可能性があると推計している。また、糖尿性腎症が悪化すると人工透析につながるおそれがあり、透析導入患者の原疾患として39.5%（全体：336,759人、男性：222,510人、女性：114,249人（日本透析医学会2020））、山形県においても人工透析導入は県民の生活の質に大きな影響を及ぼすことになる。平成28年4月厚生労働省は「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、山形県も取り組みを開始した。山形県では医師会や薬剤師会をはじめ多くの団体において取り組まれてきた糖尿病教室等の既存事業を尊重しつつ、新規透析導入患者数の減少を目指し、関係機関・団体が連携して「山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防プログラム」による重症化予防に重点的に取り組むとともに、在宅で療養する患者の環境整備に資している。</p> <p>更に糖尿病は、新型コロナの重症化にかかわる危険因子のひとつと考えられている。糖尿病と新型コロナに関するいくつかの研究で、糖尿病の人はそうでない人に比べ、新型コロナに感染した場合の死亡リスクが2～3倍に上昇することが示されている。糖尿病領域部門は、会員の糖尿病治療ならびに療養指導に必要な薬学の最新の知識習得・技術向上、患者の心理と行動ならびに医療者と患者との関係をより良くするための糖尿病臨床－医療学の技術向上・発展、糖尿病に関する研究・情報交換を推進することにより職能を高め、その職能を通じて県民の厚生福祉に寄与することができるよう活動する。</p>
活動内容	<p>2021年度 糖尿病領域部門の年間活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和3年度 第1回糖尿病領域部門会議 日時：令和3年7月13日（火）14：00～16：00 会場：Web会議（zoom） ①一般社団法人山形県病院薬剤師会 研修会および講演会等開催規程 糖尿病領域部門内規 一般社団法人山形県病院薬剤師会 研修会および講演会等開催規程と糖尿病領域部門内規を確認した。 内規は、糖尿病部門の目的、事業内容、運営、会計を明らかにし、部員および部門以外の県病薬会員に透明性を持たせた。 講演会の企画 ・今年度中は、Web研修 ・各病院・地域で講演会・研修会が減少 MRの訪問規制 ・研修時間は90分 平日 2022年1月2月（年末年始周辺を除く） ・講演希望内容 1）超超速効インスリン（ルムジェブ・フィアスプについて）の取り扱い 2）GLP-1受容体作動の内服薬の注意点 山形県病院薬剤師会第1回糖尿病領域講演会 日時：令和4年2月17日（木）19：00～20：30 会場：Web会議（Teams） 山形県病院薬剤師会 webセミナー 座長：山形済生病院 薬局長 羽太 光範 先生 講演1 『超速効型インスリン（fast-acting insulin aspart）について』 演者：公立置賜総合病院 代謝内分泌内科 石井 康大 先生 講演2 『最新GLP-1受容体作動薬の使い方と今後の期待』 演者：公立置賜総合病院 代謝内分泌内科 石井 康大 先生 令和3年度第2回糖尿病領域部門会議 日時：令和4年3月29日（火）14：00～16：00 会場：Web会議（zoom） その他 ・2020年12月25日「SGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendation」に改訂された

反省 来年度に 向けて	<p>1. 山形県病院薬剤師会第1回糖尿病領域講演会 (反省)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の日程が決まるのが遅くなった ・事務局への申請がメ切近くなり案内が遅れた ・超超速効インスリン（ルムジェブ・フィアスプについて）とGLP-1受容体作動の内服薬の使用経験が少ないので勉強になった。 ・使用経験が少ない状況なので、情報が必要と感じた人が参加できた。 <p>2022年度 糖尿病領域部門の年間活動(案)</p> <p>1 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、年1～2回を企画 ・候補日 2022年10月以降 ・協力いただける製薬メーカーを検索 ・講演会の開催方法を検討 <p>2 調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病関連もしくは糖尿病腎症に関する調査・研究 調査・研究結果を関連学会への演題登録 <p>3. 糖尿病領域の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県薬剤師会と必要時連携をとり、薬剤師としての患者教育を行う。 ・日本くすりと糖尿病学会等の広報を連絡し、県内で情報を共有する。 ・糖尿病の治療・指導・支援は、複数の職種、複数の診療科が連携をとり、チーム医療が大切になる。メディカルスタッフの糖尿病療養指導のチーム力を高めるため、日本糖尿病療養指導士、山形県糖尿病療養指導士・支援士を育て、患者に合わせた糖尿病教育や相談が行うようブラッシュアップに取り組む <p>4. その他（学会・研究会への参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本病院薬剤師会東北ブロック学術集会（山形市） ・東北地区糖尿病療養指導・薬学研究会（郡山市） ・日本くすりと糖尿病学会 2022年第1回技能研修会基礎編（Web）
-------------------	---

委員会名	広報DI委員会
委員 ◎：委員長	◎羽太 光範、國井 健、板垣 有紀、佐藤ゆかり、佐藤 拓也、 松田圭一郎、川井 美紀、佐藤 一真、目黒 俊幸、大滝 善樹
我々を取り巻く状況と課題	これまで、1989年に『山形県病薬DI-news』を発刊以来、2017年に『山形県病薬DI-news plus+』と名称を変えながら、2019年に『やまがた県病薬広報誌』として全面リニューアルを図ってきた。 2017年よりDI委員会と広報委員会が統合され、広報DI委員会として活動している。時代にマッチした広報の在り方を議題の中心に置きながら検討してきている。
活動内容	2021年08月26日に、『第1回広報DI委員会』 2021年11月14日に、『第2回広報DI委員会』 をそれぞれ開催した。 リニューアルして3巻目となる広報誌『やまがた県病薬広報誌』No.32は、施設紹介も含めて引き続き好評であり、発刊の価値を感じるものとなった。研修会の参加申し込みおよび参加費支払いもホームページを経由したカード決済の運用も開始し、概ね問題なく利用されている。
反省 来年度に向けて	会員間交流を進めるために、より活発な運営が可能となるような新しい試みを積極的に取り組んでいきたい。

委員会名	医薬品安全管理委員会
委員 ◎：委員長	◎渡邊 茂、佐藤 賢、松田 隆史、菊地 正人、芦埜 和幸、半田 貢康
我々を取り巻く状況と課題	平成19年の改正医療法により、病院・診療所等の管理者に「医薬品の安全使用のための責任者（医薬品安全管理責任者）を配置することが義務付けられた。医薬品安全管理者の役割としては、医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成、従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施、業務手順書に基づく業務の実施、医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集と医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施とされている。こうした中で病院薬剤師は、医療安全の観点で言えば、従来から行われてきたブレイクアウト報告に加え、リスクマネージャーとしての職能が求められるようになってきている。
活動内容	会議 「令和3年度 第1回 医療安全委員会合同会議」 日 時：令和3年8月29日(日) 13:00～15:00 ZOOMにて開催 参加者：渡邊、半田(県病薬)村岡、富樫、遠藤、相原(県薬) 協議事項：①調剤過誤、事故報告制度について ②医療安全に関する薬薬連携について ③共有すべき事例検討について 「令和3年度 第1回 山形県病院薬剤師会 医薬品安全管理委員会」 日 時：令和3年11月30日(火) 14:00～15:00 ZOOMにて開催 参加者：渡邊、佐藤、菊地、芦埜 協議事項：①昨年度の委員会活動報告について ②県薬の調剤過誤報告書について ③本年度の委員会活動について ④日病薬東北ブロック学術大会シンポジウムについて
反省 来年度に向けて	医薬品安全管理委員会は、単独開催と県薬の医療安全委員会との合同開催という形で会議を行ってきた。今後、県薬との合同開催については委員会からオブザーバーとして委員長含め2名程度が会議に参加することとなった。 また、研修会については、当初医療安全と医療情報を融合した各施設での取り組みについて、広報DI委員会との共同開催という形で予定していたが、諸般の事情で開催できなかったことは反省すべき点であり、次年度の開催に向け取り組んでいく所存である。

委員会名	連携推進委員会
委員 ◎：委員長	◎伊藤 秀悦、渡邊 茂、荒井 浩一、高梨 伸司、大川 賢明
我々を取り巻く状況と課題	地域連携加算等を踏まえ、多職種との連携推進は今後ますます必要と考えてはいるが、コロナ禍と言う事もあり多くの活動が制限され、ワクチン接種業務等では多くの時間を割かれた事もあり、思う様な連携に向けた活動が進まない様に感じている。
活動内容	令和4年6月25・26日開催の日本病院薬剤師会東北ブロック学術大会 シンポジウム 地域連携 連携の架け橋へ ～地域医療連携強化へ県内の取り組み～ について企画運営等を行い、オーガナイザー・発表者を選出し、発表も行う予定である。
反省 来年度に向けて	委員会開催等活動が余りなされなかった。来年度へ向けては委員会の開催等必要とされる活動を行っていききたい。

委員会名	実務実習委員会
委員 ◎：委員長	◎伊藤 秀悦、羽太 光範、渡邊 茂、清野 由利、石山 ふみ、押切佳代子、 小竹 美穂、延川 正雄、高橋 信明、安部 一弥
我々を取り巻く状況と課題	コロナ禍において、予定通り実習を進めて行けるのか、学生・スタッフ共感染対策等課題は多いと考えられる。又、指導薬剤師の高齢化や退職による減少、薬剤師不足による実務実習受入れ断念等もあり、指導薬剤師の養成と実習施設の増加を図って行く必要がある。
活動内容	令和3年度実務実習委員会 1. 報告事項 1) 昨年度事業報告 ・委員会開催とマッチングについて報告 2) 本年度の実務実習受入れ状況について ・マッチング状況を別紙報告 ・感染拡大の為受け入れ中止となった施設があり、近隣施設へ変更となった ・学生が2週間の県外移動等自粛を守らなかった為、出身大学の付属病院での実習となった 3) 東北調整機構 大学間小委員会、薬局・病院実務実習小委員会 合同会議報告 ・別紙報告書により説明 4) その他 ・令和4年9月24・25日に実務実習指導者養成WSを開催予定 2. 協議事項 1) 年度行事スケジュールについて ・マッチングに行いては提出期間が短い為、今年は伊藤が行ったが、来年以降も会長・副会長で行っていく事になる 2) 委員会開催スケジュールについて ・来年度も1回の定期開催予定とし、必要に応じて随時開催とする 3) 実務実習の現状と課題 ・各施設における問題点、疑問等を話し合い情報共有を行った
反省 来年度に向けて	コロナ禍と言う事もあり、年1回の委員会開催であった。出来れば集合の委員会を開催し、密な情報共有や課題解決に向けた意見交換を行えればと考える。

委員会名	学術委員会
委員 ◎：委員長	◎山口 浩明、石川 大介、市川 勇貴、大泉 崇、小倉 次郎、小島 俊彦、 菅原 拓也、田中 大輔、中村 新、服部 豊
我々を取り巻く状況と課題	病院薬剤師業務が高度化・複雑化するなか、業務の質を上げるには研究マインドを持って業務を遂行することが重要である。また、薬物療法に対するエビデンスを構築していくことも我々病院薬剤師の一つの任務である。本委員会では、山形県内の病院薬剤師の学術研究レベルを向上するために、病院薬剤師研究推進セミナー、山形県病院薬剤師会学術大会の開催、ホームページを通じた学術研究の推進を進めている。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> 1. 令和3年7月26日(月) 19:00-20:00@ZOOM会議 2. 令和3年11月14日(日) 10:40-11:00@山形ビッグウイング ●病院薬剤師研究推進セミナー in山形 <ul style="list-style-type: none"> 日 時：令和3年8月27日(木) 19時00分～20時40分 会 場：ZOOM配信【配信会場：小野薬品山形営業所】 【Sponsored Session】19:00～19:30 <ul style="list-style-type: none"> 座長：篠田総合病院 薬剤部 市川 勇貴 先生 『当院でのチームアナモレリンの取り組み』 竹田総合病院 薬剤科 室長 木本 真司 先生 【Special Lecture】19:30～20:30 <ul style="list-style-type: none"> 座長：山形済生病院 薬局長 羽太 光範 先生 『病院薬剤師が研究すること』 山形大学医学部附属病院 薬剤部 教授 山口 浩明 先生 ●第1回 山形県病院薬剤師会学術大会 <ul style="list-style-type: none"> 日 時：令和3年11月14日(日) 13:00～15:50 会 場：ZOOM配信【配信会場：山形ビッグウイング】 学術発表：15演題 優秀発表賞：一包化調剤鑑査における錠剤鑑査支援システムの時間短縮効果の検討 豊田 優（山形大学医学部附属病院 薬剤部） ●多施設共同研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> R3年度開始：1件 Corynebacterium属による感染症の治療法確立に関する研究 参加施設：山形大学医学部附属病院、山形市立病院済生館、山形済生病院
反省 来年度に向けて	今年度は新たに委員会企画セミナー、第1回学術大会を開催した。また、委員会を通じて新たな県内多施設共同研究が開始された。来年度は、学術研究活動に取り組みやすい環境整備のための臨床研究関連教材の作成、県内薬剤師発表論文からの優秀論文賞の選出など、県内の学術研究活動の推進、質の向上を図っていく。

委員会名	災害対策委員会
委員 ◎：委員長	◎萬年 琢也 横澤 大輔、芦立 昌文、齋藤 順、石垣 俊樹、 佐藤 敬子、佐藤 遼、佐藤 拓也
我々を取り巻く状況と課題	自然災害に加え、日本各地で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている現在、山形県においても蔓延防止等重点措置が行われた。このような状況のなか、様々な種類の災害に対し、私たち病院薬剤師は減災のために平時から何をすべきか、災害時には何をすべきか、何ができるかについて、災害薬事に関する相互理解が必要とされている。
活動内容	新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ等、各病院での災害的な対応にあたり、災害対策委員会としての活動は行っていない。
反省 来年度に向けて	山形県では、災害時に、県ならびに保健所及び市町村が保健医療活動の総合調整等を適切かつ円滑に行えるよう、保健医療活動の調整等を担う本部において、被災地の保健医療ニーズの把握、保健医療活動チームの派遣調整等に係る助言及び支援を行う「山形県災害薬事コーディネーター」の委嘱を計画している。この期待に応えるべく、災害時における基本的な薬剤師の役割について学習する機会について、コロナ禍のなか、どのような形式ならば可能であるか、継続して検討を行う。

委員会名	U40－令和3年度 薬剤師 研修会実行委員会
委員 ◎：委員長	◎市川 勇貴、中村雄太郎、後藤 純一、小林 武志、山田 浩貴、菅原しおり、 吉田 諒、後藤 真吾、植松 聡志、太田 拓希、中村 新
我々を取り巻く状況と課題	U40研修会委員会は、病院薬剤師が各病院・各世代ならではの悩みや課題について気兼ねなく話し合える場であると考え。薬剤師の研修会と言えば、「がん」、「感染症」、「精神疾患」、「糖尿病」など疾病と薬についての内容がほとんどを占める。しかし、30～40歳の薬剤師は「後輩育成」、「キャリアデザイン」、「医療統計」など薬から離れた分野対して興味や悩みを持っているものも多いのではなかろうか。会議ではそういった意見もあり、2年間の任期中に他の委員会では開催しないような内容の研修会を開催すべく準備を行っている。
活動内容	○会議 ・令和3年6月1日(火) 20時～21時 ・令和3年7月20日(火) 20時～20時50分 ・令和4年1月18日(火) 18時～18時45分 ○研修会 日時：令和3年10月28日(木) 18時30分～20時10分 会場：ヤマコーホールおよびWEB配信 【情報提供】18：30～18：40アセリオ静注液1000mgバック テルモ株式会社 【特別講演】18：40～20：10 座長：篠田総合病院 薬剤部 市川 勇貴 『聖マリアンナ医科大学における臨床薬剤師育成プログラム』 ～患者様の苦痛を和らげるためのスキルアップ術～ 聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 前田 幹広 先生 参加者 45名
反省 来年度に向けて	今年度は委員再編の年度でもあり会議もWEB形式でしか行えなかったため委員同士のコミュニケーションが難しい年度となった。コロナ禍もあり、研修会企画が数名の委員に偏ってしまうのが課題である。 来年度は第11回東北病院ブロック大会でのシンポジウム、7月の研修会も企画しているのでアンケート等も併用しながら会員の意見を吸い上げていきたいと考えている。

一般社団法人山形県病院薬剤師会 令和3年度活動決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費	6,068,000	
正会員受取会費	4,620,000	
特別会員受取会費	228,000	
準会員受取会費	40,000	
賛助会員受取会費	1,180,000	
2. 事業収益	1,698,500	
研修会参加費	593,500	
研修会共催費	505,000	
広報誌広告費	600,000	
3. 受取日病薬還付金	546,720	546,720
4. 受取寄付金	0	0
5. その他収益	37	37
経常収益計		8,313,257
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
会務執行部賃金	259,886	
人件費計	259,886	
(2) その他経費		
旅費交通費	42,780	
通信運搬費	87,120	
会場費	27,570	
研修会認定申請費	66,550	
薬学大会負担金	0	
講師謝礼	60,000	
雑 費	50,500	
その他経費計	334,520	
事業費計		594,406
2. 管理費		
(1) 人件費		
会務執行部賃金	425,783	
人件費計	425,783	
(2) その他経費		
旅費交通費	170,640	
通信運搬費	123,696	
会場費	11,100	
広報誌作成費	825,000	
オンライン対策費	548,281	
日病薬負担金	3,232,000	
東北病薬負担金	50,000	
日病薬東北ブロック学術大会負担金	200,000	
日赤社協力費		
事務局費	575,297	
登記費	205,000	
雑 費	90,675	
その他経費計	6,031,689	
管理費計		6,457,472
経常費用計		7,051,878
当期正味財産増減額		1,261,379
期首引継財産額		5,605,357
次期繰越正味財産額		6,866,736

令和4年度 一般社団法人山形県病院薬剤師会活動計画

1. 医療安全及び医薬品の適正使用に関する事項

本会のホームページやメール送信等の手段により、タイムリーな情報発出に努めるとともに、医薬品安全管理に関する研修会の開催等を通じて、医療安全・医薬品安全に関わる情報やインシデント・アクシデント事例を共有することで、業務の安全水準を高めて県民の医療の質の確保に貢献する。

2. 薬剤師業務に係る情報の交換及び連絡、調査に関する事項

日常業務に役立つ取り組みや成功事例、解決できていない課題について、会員間で参考にしやすい環境を整えるとともに、必要であれば調査を施し、現状の把握と評価を行うとともに課題を改善していく。

3. 機関誌及び図書等の刊行並びに情報提供に関する事項

県病薬やまがた広報誌を発行し各施設および会員の紹介を通じ、会員間の親近感を高めるとともに、日々の医薬品情報から本会の運営に関する内容まで、手に取って触れていただく価値ある広報誌を提供するとともに、会員にとって有用なホームページになるよう工夫を講じていく。

4. 生涯研修及び各種認定に関する事項

会員が生涯を通じて学習していくことを重要と考え、領域を特定せず学習の機会が多くなるようサポートをする。また、専門的な領域についても各種認定を取得できるよう可能な支援をしていく。

5. 学術大会、研修会等の開催及び協力に関する事項

本会主催の学術大会をこの秋に開催し、本会の学術的な主要なイベントの一つと位置付け、例年開催している山形県薬学大会や日病薬東北ブロック学術大会と合わせた『3大会』が、会員の日常の発表の場としてより多くの会員が利用されるよう工夫していく。

また、令和4年度は日病薬東北ブロック第11回学術大会が本県で開催されることから、十分な準備をもって不備のない大会開催に努めていきたい。

各種研修会の開催については、コロナ禍でも安定的に開催できる手段を講じながら段階的にあらゆる工夫を施して、魅力ある研修会の開催を心掛け、年間30本は設定したい。

6. 行政機関及び関係諸団体との連携及び協力に関する事項

本県には当会も含めた薬業関連6団体で組織する『山形県薬事協議会』が存在し、本会議では山形県の担当者を交えて協議や意見交換を行っている。今後とも関係性を重視しながら、継続して目の前の課題解決に注力していきたい。

また、各自治体や関連団体との連携についても、固定概念にとらわれず大局観に立った協議や取り組みを実践していきたい。

7. 薬学教育の向上に関する事項

薬学生5年生次に行っている病院実務実習について、山形県薬剤師会と協調しながら充実した実務実習になるように本会の当該委員会や病院・薬局実務実習東北地区調整機構を通じて進めていく。

8. 災害時における医薬品の確保及び応急活動に関する事項

薬事災害に関わる研修会開催を開催し、災害時における薬剤師の役割を広く認識することで、災害時の職能発揮に生かす。

9. 会員の職能の向上に関する事項

日常業務における多職種間のタスクシフティングを検討および推進していく中で、潜在的な職能の可能性を探求し、未来的思考で議論していく。

10. 会員の地位向上及び待遇改善等に関する事項

現在の社会的地位の評価を認識し、職能を発揮した存在アピールと、相当の待遇改善について、その機会を捉えて行動していく。

11. 会員の相互扶助、相互親睦、福利厚生に関する事項

顔の見える相談しやすい会員間の交流をモットーに、様々な工夫を講じていく。

12. 慢性的な薬剤師不足の解決に関する事項

山形県下の多くの病院が抱える薬剤師不足を解消していくため、厚生労働省より示された『地域医療介護総合確保基金における薬剤師修学資金貸与事業』の本県での事業化に向けて、実態調査を施し関係各所と連携を取りながら、山形県への陳情等を進める。

13. その他本会の目的を達成するのに必要な事項

公平かつ透明性のある会の運営に努め、必要な規程等を整備するとともに、それぞれの役割を正しく理解し本会の目的達成のために、会員一丸となって活気あふれる活動が進められるよう組織運営を行っていく。

ビジネスチャットツール『LINEWORKS』を新規導入し、会員間の情報交換をよりタイムリーかつスムーズに展開するしくみを構築する。

一般社団法人山形県病院薬剤師会 令和4年度活動予算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額	
I 経常収益			
1. 受取会費		6,068,000	
正会員受取会費	4,620,000		
特別会員受取会費	228,000		
準会員受取会費	40,000		
賛助会員受取会費	1,180,000		
2. 事業収益		1,698,500	
研修会参加費	593,500		
研修会共催費	505,000		
広報誌広告費	600,000		
3. 受取日病薬還付金	546,720	546,720	
4. 受取寄付金	0	0	
5. その他収益	0	0	
経常収益計			8,313,220
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
会務執行部賃金	300,000		
人件費計	300,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	1,000,000		
通信運搬費	100,000		
会場費	300,000		
研修会認定申請費	100,000		
薬学大会負担金	150,000		
講師謝礼	150,000		
雑 費	200,000		
その他経費計	2,000,000		
事業費計		2,300,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
会務執行部賃金	425,000		
人件費計	425,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	400,000		
通信運搬費	300,000		
会場費	200,000		
広報誌作成費	825,000		
オンライン対策費	200,000		
日病薬負担金	3,232,000		
東北病薬負担金	50,000		
日病薬東北ブロック学術大会負担金	200,000		
日赤社協力費	35,000		
事務局費	300,000		
登記費	60,000		
雑 費	150,000		
その他経費計	5,952,000		
管理費計		6,377,000	
経常費用計			8,677,000
当期正味財産増減額			- 363,780
期首引継財産額			6,866,736
次期繰越正味財産額			6,502,956

▼表彰（令和3年度一般社団法人山形県病院薬剤師会通常総会以降）

令和3年度薬事功労者厚生労働大臣表彰（令和3年11月9日）

和田 幸治 先生

令和3年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰（令和3年11月25日）

大石 玲児 先生（三友堂病院 勤務）

令和3年度薬事功労者山形県知事感謝状受賞（令和3年11月9日）

西村孝一郎 先生（山形市立病院済生館 勤務）

令和4年度永年会員（25年）表彰

後藤 恵子 先生（山形県立河北病院 勤務）

齋藤 智美 先生（山形県立中央病院 勤務）

高梨 由紀 先生（医療法人二本松会かみのやま病院 勤務）

第1回山形県病院薬剤師会学術大会（令和3年11月14日）

◎最優秀発表賞

豊田 優 先生（山形大学医学部附属病院 勤務）

一包化調剤鑑査における錠剤鑑査支援システムの時間短縮効果の検討

○豊田 優 1, 畠山 史朗 1, 金野 昇 1, 志田 敏宏 1,

小倉 次郎 1, 杉下 直 2, 飯野 良介 2, 山口 浩明 1,

1. 山形大学医学部附属病院薬剤部, 2. 株式会社トーショー

令和3年度 一般社団法人山形県病院薬剤師会役員（27名）

会長

羽太 光範	山形済生病院	山形ブロック
-------	--------	--------

副会長（3名）

伊藤 秀悦	篠田総合病院	山形ブロック
渡邊 茂	米沢市立病院	置賜ブロック
山口 浩明	山形大学医学部附属病院	山形ブロック

理事（21名）

佐藤 賢	日本海総合病院	庄内ブロック	ブロック長
清野 由利	鶴岡市立荘内病院	庄内ブロック	副ブロック長
鎌田 敬志	鶴岡市立荘内病院	庄内ブロック	
大川 賢明	庄内余目病院	庄内ブロック	
高梨 伸司	山形県立新庄病院	村山最上ブロック	ブロック長
菊地 正人	寒河江市立病院	村山最上ブロック	副ブロック長
國井 健	北村山公立病院	村山最上ブロック	
石山 ふみ	山形県立河北病院	村山最上ブロック	
荒井 浩一	山形市立病院済生館	山形ブロック	ブロック長
鈴木 薫	山形県立中央病院	山形ブロック	副ブロック長
萬年 琢也	山形県立中央病院	山形ブロック	
小倉 次郎	山形大学医学部附属病院	山形ブロック	
金野 昇	山形大学医学部附属病院	山形ブロック	
志田 敏宏	山形大学医学部附属病院	山形ブロック	
芦埜 和幸	東北中央病院	山形ブロック	
西村孝一郎	山形市立病院済生館	山形ブロック	
市川 勇貴	篠田総合病院	山形ブロック	
板垣 有紀	山形済生病院	山形ブロック	
松田 隆史	公立置賜総合病院	置賜ブロック	ブロック長
三須 栄治	舟山病院	置賜ブロック	副ブロック長
相馬 直記	三友堂リハビリテーションセンター	置賜ブロック	

監事（2名）

藤村 晃	南さがえ病院
大石 玲児	三友堂病院

令和4年度 一般社団法人山形県病院薬剤師会役員（27名）

会長

羽太 光範	山形済生病院	山形ブロック
-------	--------	--------

副会長（3名）

伊藤 秀悦	篠田総合病院	山形ブロック
渡邊 茂	米沢市立病院	置賜ブロック
山口 浩明	山形大学医学部附属病院	山形ブロック

理事（21名）

佐藤 賢	日本海総合病院	庄内ブロック	ブロック長
清野 由利	鶴岡市立荘内病院	庄内ブロック	副ブロック長
鎌田 敬志	鶴岡市立荘内病院	庄内ブロック	
大川 賢明	庄内余目病院	庄内ブロック	
菊地 正人	寒河江市立病院	村山最上ブロック	ブロック長
國井 健	北村山公立病院	村山最上ブロック	副ブロック長
萬年 琢也	山形県立新庄病院	村山最上ブロック	ブロック長
長岡 一郎	山形県立河北病院	村山最上ブロック	
松田圭一郎	山形市立病院済生館	山形ブロック	ブロック長
芦野 均	山形県立中央病院	山形ブロック	副ブロック長
小倉 次郎	山形大学医学部附属病院	山形ブロック	
金野 昇	山形大学医学部附属病院	山形ブロック	
志田 敏宏	山形大学医学部附属病院	山形ブロック	
芦埜 和幸	東北中央病院	山形ブロック	
西村孝一郎	山形市立病院済生館	山形ブロック	
市川 勇貴	篠田総合病院	山形ブロック	
板垣 有紀	山形済生病院	山形ブロック	
松田 隆史	公立置賜総合病院	置賜ブロック	ブロック長
相馬 直記	三友堂リハビリテーションセンター	置賜ブロック	副ブロック長
水口 真知	公立高島病院	置賜ブロック	
海老名 勇	舟山病院	置賜ブロック	

監事（2名）

藤村 晃	南さがえ病院
大石 玲児	三友堂病院

一般社団法人山形県病院薬剤師会 会員名簿

令和4年12月26日現在

正会員

〈庄内ブロック〉

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
山形県・酒田市病院機構日本海酒田リハビリテーション病院 〒998-0843 酒田市千石町2丁目3番20号 TEL 0234-23-1111 (114床)			
阿部 桂子	新潟薬大 H3	菅原 優子	東北薬大 H7
医療法人 順仁堂遊佐病院 〒999-8301 飽海郡遊佐町大字遊佐町字石田7番地 TEL 0234-72-2522 (88床)			
佐藤 忠男	東北薬大 S40	佐藤 素子	北医大 H7
医療法人 酒田東病院 〒998-0878 酒田市こあら3丁目5番2号 TEL 0234-22-9611 (120床)			
吉岡 美佳	東北薬大 H9 静岡県大(修)H11		
医療法人山容会 山容病院 〒998-0074 酒田市浜松町1番7号 TEL 0234-33-3355 (220床)			
門脇 洵亮	東北医薬大 H29		
山形県・酒田市病院機構日本海総合病院 〒998-0828 酒田市あきほ町30番地 TEL 0234-26-2001 (646床)			
佐藤 賢	富山医薬大 S60	佐藤 遼	岐阜薬大 H21
阿部 美佐緒	東北薬大 S62	草島 宏平	明薬大 H21 明薬大(修)H23
成田 康之	昭薬大 H1	佐藤 桂	国医療大 H22
五十嵐 徹	金沢大 H3	岡田 うらら	東北大 H24
茂木 佳子	東日本大 H3	伊藤 雅人	東北薬大 H26
伊藤 文俊	昭薬大 H3	菅原 しおり	新潟薬大 H26
粕谷 法子	東北薬大 H6	武田 健史	新潟薬大 H29
足達 昌博	東北薬大 H7	加賀 真樹	東北医薬大 H30
成田 さと子	東北薬大 H8	河口 尚史	東薬大 H30
小竹 美穂	新潟薬大 H13	本間 美久子	新潟薬大 H30
堀 美香	道薬大 H13 星薬大(修)H15	百瀬 里穂	東北医薬大 H30
佐藤 ゆかり	東北大 H13	諸橋 花奈	東北医薬大 H30
須藤 悦衛	東北薬大 S56	田村 朋香	東北医薬大 R2
白幡 雅章	北里大 S57	渡邊 太貴	新潟薬大 R2
石川 大介	東理大 H18	小野寺 一誠	千葉科学大 R3
佐藤 萌子	明薬大 H20 明薬大(修)H22	阿部 麻梨恵	東北医薬大 R4
今井 法子	明薬大 H21		
医療法人健友会・本間病院 〒998-0044 酒田市中町3丁目5番23号 TEL 0234-22-2556 (158床)			
高橋 真己	東北薬大 S63	大沼 あゆみ	東理大 H20
池田 広子	東北薬大 H17	川崎 芙季子	横薬大 H25
石川 し乃	共立薬大 H17		

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
医療法人徳洲会 庄内余目病院 〒999-7782 東田川郡庄内町松陽1丁目1番1号 TEL 0234-43-3434 (324床)			

大川 賢明	東北薬大 S62	船山 裕和	青森大 H21
加藤 八重	富山医薬大 H10 富山医薬大(修)H12	岡部 加奈	東北薬大 H24
岡部 麻衣子	道薬大 H18	折原 恵実	東薬大 R2
荒井 泰雄	北医大 H20	矢島 弘基	城西大 R3

医療生活協同組合やまがた・鶴岡協立病院 〒997-0816 鶴岡市文園町9番地34号 TEL 0235-23-6060 (236床)			
--	--	--	--

斎藤 尚子	東北薬大 H8	設楽 真悠子	奥羽大 R3
佐藤 貴大	東北薬大 H16		

鶴岡協立リハビリテーション病院 〒997-0346 鶴岡市上山添字神明前38番地 TEL 0235-78-7511 (156床)			
--	--	--	--

白幡 めぐみ	北里大 H11	渡部 千波	北陸大 H27
--------	---------	-------	---------

鶴岡市立荘内病院 〒997-8515 鶴岡市泉町4番20号 TEL 0235-26-5111 (521床)			
---	--	--	--

清野 由利	東北薬大 S60	高橋 直子	東北薬大 H21
鎌田 敬志	東北薬大 S63	五十嵐 康郎	金沢大 H18 金沢大(修)H20
阿部 和人	東北薬大 H3	吉田 諒	東北薬大 H25
五十嵐 昌美	昭和大 H7	荒井 真智子	北医大 H20
富樫 敦子	富山医薬大 H9	植村 奈緒瑠	奥羽大 H28
田中 庸	昭薬大 H9	大池 裕貴	東北薬大 H27
田中 大輔	日大 H8	渡部 秀	横薬大 H30
土屋 宏美	東北薬大 H14	松田 千佳	北陸大 H24
坂田 奈緒美	昭薬大 H14 昭薬大(修)H16	佐藤 純	東北医薬大 H30
佐藤 拓也	道薬大 H17	鈴木 貴智	金沢大 H30

山形県立こころの医療センター 〒997-8510 鶴岡市北茅原町13-1 TEL 0235-64-8100 (213床)			
--	--	--	--

阿部 広美	北医大 H7	神山 慶子	千葉大 H11
-------	--------	-------	---------

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 〒997-0752 鶴岡市湯田川字中田35番地10号 TEL 0235-38-5151 (120床)			
---	--	--	--

後藤 利行	東薬大 S42	渡部 弘	城西大 S54
-------	---------	------	---------

〈村山最上ブロック〉

氏名 出身大学・卒業年 氏名 出身大学・卒業年
 町立真室川病院 〒999-5312 最上郡真室川町大字新町469番地1号 TEL 0233-62-2211 (60床)

田澤 宏 朗 東北薬大 H3

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院 〒996-0041 新庄市大字鳥越字駒場4623番地 TEL 0233-23-3434 (270床)

中嶋 知 英 北陸大 H19
 榎 静 香 北医大 H24

下山 望 穂 星薬大 H27
 漆原 眞 美 東北医薬大 R3

最上町立最上病院 〒999-6101 最上郡最上町大字向町64番地3号 TEL 0233-43-2112 (60床)

結城 智 博 道薬大 H9

山形県立新庄病院 〒996-0025 新庄市若葉町12番55号 TEL 0233-22-5525 (406床)

萬年 琢 也 日大 S61
 庄司 喜 恵 昭薬大 H2
 齋藤 正 子 東北薬大 H7
 小林 由 佳 東薬大 H8
 佐藤 幸 東北大 H9
 石山 靖 憲 星薬大 H10
 大滝 善 樹 東薬大 H14

大泉 崇 日大 H24
 後藤 眞 吾 いわき大 H28
 東海林 千 裕 岩手医大 H29
 吉田 蘭 明薬大 H31
 後藤 夢 東北医薬大 R3
 鈴木 大 雅 国医療大 R4
 渡邊 裕 太 奥羽大 R2

朝日町立病院 〒990-1442 西村山郡朝日町大字宮宿843番地 TEL 0237-67-2125 (50床)

庄田 聡 美 千葉大 H12

尾花沢市中央診療所 〒999-4224 尾花沢市新町3丁目2番20号 TEL 0237-23-2010

服部 貴 東北薬大 S62

医療法人敬愛会・尾花沢病院 〒999-4222 尾花沢市大字臈気695番地3号 TEL 0237-23-3637 (152床)

武田 拓 也 道薬大 H10

北村山公立病院 〒999-3702 東根市温泉町2丁目15番1号 TEL 0237-42-2111 (380床)

國井 健 道薬大 S63
 押切 佳代子 東北薬大 H3
 服部 豊 東北薬大 H1
 大類 あかね 東北薬大 H9
 平 浩 幸 北陸大 H15
 齊藤 麻衣子 第一薬大 H13
 植松 聡 志 北陸大 H19

工藤 由 起 帝京大 H21 東北大(修)H23
 川井 隆太郎 東北薬大 H26
 押切 涉 千葉科学大 H28
 斉藤 隼 東北医薬大 H31
 村形 紗 英 東北医薬大 R2
 管 辰 哉 東北医薬大 R4
 仲嶋 祐 希 城西大 R4

寒河江市立病院 〒991-8508 寒河江市大字寒河江字塩水80番地 TEL 0237-86-7774 (98床)

菊地 正 人 富山医薬大 S60
 八 欽 雅 昭 東北薬大 S63
 田中 久 美 東北薬大 H3

中村 悠 香 東北薬大 H19
 小林 正 人 星薬大 H25

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
医療法人ゆうし会・南さがえ病院 〒991-0043 寒河江市大字島字島東87番地2 TEL 0237-85-6611 (130床)			
中澤 芳文	東北薬大 S61	藤村 晃	道薬大 S60

医療法人風心堂 小原病院 〒999-3511 西村山郡河北町谷地月山堂151番地1号 TEL 0237-72-7811 (176床)			
徳 永 ひとみ	東邦大 S60		

西川町立病院 〒990-0702 西村山郡西川町海味581番地 TEL 0237-74-2211 (43床)			
佐竹 公子	日大 H9	高橋 彰次郎	東北薬大 H25

医療法人篠田好生会・天童温泉篠田病院 〒994-0024 天童市鎌田1丁目7番1号 TEL 023-653-5711 (120床)			
鈴木 純一	明薬大 H6	小松 弘	東北薬大 H28
和智 麻唯子	東北薬大 H21		

天童市民病院 〒994-0047 天童市駅西5丁目2番1号 TEL 023-654-2511 (84床)			
管 祐司	東北薬大 S63	星野 淳	東北薬大 H3

山形県立河北病院 〒999-3511 西村山郡河北町谷地字月山堂111番地 TEL 0237-73-3131 (186床)			
長岡 一郎	東北薬大 S62	海藤 真理子	富山大 H15 東北大(修)H17
結城 正幸	東北薬大 H7 東北薬大(修)H9	尾崎 里帆	東北医薬大 H30
後藤 恵子	東北大 H8		

医療法人社団明山会 山形ロイヤル病院 〒999-3712 東根市大森2丁目3番6号 TEL 0237-43-8080 (322床)			
柴田 竜希	青森大 H20	名和 里子	日薬大 H20
佐藤 秀樹	東北薬大 S53	名和 一恵	道薬大 S55 道薬大(修)S57

医療法人社団丹心会 吉岡病院 〒994-0026 天童市東本町3丁目5番21号 TEL 023-654-1188 (126床)			
高橋 功子	日大 H7	阿部 千花	新潟薬大 R2

医療法人社団清明会 PFC HOSPITAL 〒996-0053 山形県新庄市大字福田806 TEL 0233-22-2047 (180床)			
田澤 義江	東北薬大 H3		

〈山形ブロック〉

氏名 出身大学・卒業年 氏名 出身大学・卒業年
 医療法人社団・小白川至誠堂病院 〒990-0034 山形市東原町1丁目12番26号 TEL 023-641-6075 (148床)

金子俊幸 東北薬大 S58 廣瀬諭 日大 H11
 真壁純子 東日本大 S59

医療法人社団みゆき会・みゆき会病院 〒999-3161 上山市弁天2丁目2番11号 TEL 023-672-8282 (183床)

丘龍祥 東北薬大 H4 東北薬大(博)H19 片桐彩喜 東北薬大 H24
 吉田滋穰 道薬大 H11 道薬大(修)H13 高橋尚史 日大 H29
 金子敦子 東北薬大 H24

医療法人社団松柏会・至誠堂総合病院 〒990-0045 山形市桜町7番地44号 TEL 023-622-7181 (230床)

工藤浩幸 北陸大 S57 渡辺祐太 東北薬大 H28
 齊藤信之 東北薬大 H12 渡辺帆南 東北医薬大 H31
 山田千尋 奥羽大 H25 角田悠 東北薬大 H27
 丹野杏子 東北薬大 H26

医療法人篠田好生会・篠田総合病院 〒990-0045 山形市桜町2番地68号 TEL 023-623-1711 (386床)

伊藤秀悦 日大 H1 八巻智也 奥羽大 H26
 半田貢康 東北薬大 H3 中村匡吾 東北医薬大 H30
 市川勇貴 東北薬大 H18 東北薬大(修)H20 渡邊広大 東北医薬大 H31
 笹原大司 第一薬大 H16 佐藤向 東北医薬大 R2
 佐藤令菜 いわき大 H25 森谷雄介 東北医薬大 R3

医療法人篠田好生会 千歳篠田病院 〒990-0811 山形市長町2丁目10番56号 TEL 023-684-5331 (300床)

鈴木聖子 東北薬大 H11 原宏子 東北薬大 H27
 小林聖子 富山大 H20

医療法人東北医療福祉会山形厚生病院 〒990-2362 山形市大字菅沢字鬼越255番地 TEL 023-645-8118 (312床)

田辺雄一 東北薬大 H11

公立学校共済組合・東北中央病院 〒990-0064 山形市和合町3丁目2番5号 TEL 023-623-5111 (252床)

芦埜和幸 東北薬大 S57 海和颯 東北医薬大 H31
 大澤千鶴子 東北薬大 H1 木村公美 国医療大 H31
 宮崎衛江 東北薬大 H4 伊藤聡美 岩手医大 R2
 大熊理子 奥羽大 H21 小野まゆみ 東邦大 S54
 黒田晋平 青森大 H26 中澤郁美 武蔵野大 R4
 庄司紘将 奥羽大 H25 逸見楓 東北医薬大 R4
 菱沼侑子 東北医薬大 H30

医療法人二本松会・かみのやま病院 〒999-3103 上山市金谷字下河原1370番地 TEL 023-672-2551 (426床)

高梨由紀 第一薬大 H7 柏利育 摂南大 H13

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
医療法人二本松会 山形さくら町病院 〒990-0045 山形市桜町2番地75号 TEL 023-631-2315 (339床)			

齋藤寛	東北薬大 H10	小林厚子	東北薬大 S54
永井瑛恵	福山大 H20	三浦幸恵	道薬大 H16
鈴木創	第一薬大 H19		

山形県立中央病院 〒990-2292 山形市青柳1800番地 TEL 023-685-2626 (609床)			
芦野均	東北薬大 S63	石川千尋	明薬大 H26
高橋和枝	明薬大 H3	小幡瞳	城西大 H26
小野裕紀	東北大 H7 東北大(修)H9	佐藤宇高	岩手医大 H26
田村敦子	東北薬大 H5	伊藤正哉	東北薬大 H26
齋藤智美	明薬大 H8	山田浩貴	東北医薬大 H29
小関環	東北大 H12	武田桐佳	東北医薬大 H29
遠藤尚美	東北大 H14 東北大(修)H16	尾形菜里子	東北医薬大 H30
寺崎敦子	東北大 H15 東北大(修)H17	小林伶	新潟薬大 H30
大熊良和	奥羽大 H22	上林愛	新潟薬大 H31
荒川麻美	東北薬大 H21	石澤大輔	東北医薬大 H31
齋藤博子	国医療大 H24	朝倉綾香	東北医薬大 R2
京谷香菜	城西大 H24	横沢沙紀	新潟薬大 R2
高木栄美子	新潟薬大 H28	東海林睦美	東北医薬大 R2
樋口安耶	国医療大 H25	石名坂竜彦	東北医薬大 R3

社会福祉法人恩賜財団済生会・山形済生病院 〒990-8545 山形市沖町79番1 TEL 023-682-1111 (459床)			
羽太光範	東北薬大 S63	今田良樹	東北医薬大 H30
西村雅次	東北薬大 H3	遠藤汐梨	東北医薬大 H30
板垣有紀	東北薬大 H5	齊藤奈那	東北医薬大 H31
石垣俊樹	帝京大 H12	佐藤奈実	国医療大 H31
洪江泉	東北薬大 H1	山下勇輝	昭和大 H27
石山晶子	東北薬大 H16	磯部樹里	東北医薬大 H31
眞木秀子	千葉大 H14 千葉大(修)H16	遠藤優	星薬大 R3
遠藤清香	東北薬大 H19	大場有紗	東北医薬大 R3
中村雄太郎	東北薬大 H21	山口可奈	国医療大 R3
本田貴朗	東薬大 H21	渡會明希	北医大 R3
吉田崇志	東北薬大 H24	松田啓孝	医療創生 R4
清水美保	東北薬大 H25	川合里奈	東北医薬大 R4
菅野澄佳	昭薬大 H25	矢野紅美子	東北医薬大 R4
廣川太士朗	明薬大 H25	渡部拳人	東北医薬大 R4
田口未菜	東北薬大 H25	小倉花南	東北医薬大 R4
佐藤清貴	東北薬大 H28	山本達也	東北医薬大 R4
高橋優歩	国医療大 H29		

氏名 出身大学・卒業年 氏名 出身大学・卒業年

山形市立病院 済生館 〒990-8533 山形市七日町1丁目3番26号 TEL 023-625-5555 (528床)

松田圭一郎	東北薬大 H4	佐東未咲	東北薬大 H24
西村孝一郎	東北薬大 S60	竹屋里恵	東北薬大 H26
大沼朋子	東北薬大 S63	鈴木麻友	東北薬大 H26
矢吹むつみ	東北薬大 S62	荒井潤	東北薬大 H27
延川正雄	東北薬大 H9	五十嵐綾乃	東北医薬大 H30
加川美由紀	東北大 H12	高田あゆみ	東北薬大 H28
菅原拓也	北陸大 H14	志田幸平	静岡県大 H28 静岡県大(修)H30
斎藤順	新潟薬大 H16	田中沙織	東北医薬大 R3
有川真理	北陸大 H16	岡田美桜	東北医薬大 R3
関口徳志	明薬大 H15	海谷志保	東北医薬大 R4
後藤純一	東北薬大 H20	舟生佳奈子	東北医薬大 R4
森岡亜耶	東北薬大 H24		

山形大学医学部附属病院 〒990-9585 山形市飯田西2丁目2番2号 TEL 023-633-1122 (637床)

山口浩明	東北大 H11 京都大(博)H16	佐々木泉	いわき大 H28
小倉次郎	北大 H18 北大(修)H20	豊田優	東北医薬大 H29
志田敏宏	東北薬大 H15 東北薬大(修)H17	鈴木愛実	東北医薬大 H30
金野昇	東北薬大 H15 東北薬大(修)H17	大橋弥世	いわき大 H30
横枕史	星薬大 H15 東北大(博)H23	白田智七美	東北医薬大 H30
高橋信明	東北薬大 S63	今橋良太	奥羽大 H30
佐藤智也	東理大 H17	結城友香子	昭薬大 H30
小林武志	東北薬大 H19 東北大(修)H21	阿部佐智子	横薬大 H31
金子基子	東北薬大 H17 東北大(修)H19	土屋沙恵	東北医薬大 H30
佐藤一真	東北薬大 H25	鹿嶋美杜	東北医薬大 R2
畠山史朗	東北薬大 H25 山形大(博)R02	木村朱里	青森大 R2
須藤将裕	道薬大 H24 山形大(博)R03	白井英和	東北大 R2
青木一真	東北薬大 H24	山元彩可	星薬大 R2
澤田広樹	東北薬大 H25	岸承俊	岩手医大 R3
芦立昌文	北陸大 H25	提箸尚貴	東薬大 H29 山形大(博)R03
久坂亮介	岩手医大 H26	三浦伸晃	東北医薬大 R3
太田七恵	東北大 H23 東北大(修)H25	山口亜耶子	東北大 H19 東北大(修)H21
稲毛あずさ	岩手医大 H27	栃木セリーナ	東北医薬大 R4
田中聡一郎	横薬大 H25	西村卓真	岩手医大 R4
荒木滂	日大 H27	海老原光孝	東北大 S58 東北大(修)S60
鏡優貴	東北薬大 H28		

独立行政法人国立病院機構 山形病院 〒990-0876 山形市行才126番地2号 TEL 023-684-5566 (300床)

佐々木聖一	東北薬大 S63	土田夕里亜	新潟薬大 H28
菊池和彦	北医大 H8 北医大(修)H10	早川奏子	東北医薬大 R3
柴田要一	東北薬大 H25		

医療法人公徳会・若宮病院 〒990-2451 山形市吉原2丁目15番3号 TEL 023-643-8222 (115床)

渡辺真理	東北薬大 S61	小柳康弘	昭薬大 H11 昭薬大(修)H13
------	----------	------	-------------------

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
医療法人徳洲会 山形徳洲会病院 〒990-0834 山形市清住町2丁目3番51号 TEL 023-647-3407 (292床)			

太田 香	東理大 H15	大宮 圭典	星薬大 H20
熊谷 綾	東北薬大 H24	小久保 和樹	東北医薬大 H31

医療法人社団清永会・矢吹病院 〒990-0885 山形市嶋北4丁目5番5号 TEL 023-682-8566 (124床)			
---	--	--	--

有川 宗平	日大 H16	加藤 容子	昭薬大 H9
-------	--------	-------	--------

山形県立こども医療療育センター 〒999-3145 上山市河崎三丁目7番1号 TEL 023-673-3366 (60床)			
---	--	--	--

小田部 友恵	東北大 H10		
--------	---------	--	--

〈置賜ブロック〉

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
公立置賜総合病院 〒992-0601 東置賜郡川西町大字西大塚2000番地 TEL 0238-46-5000 (496床)			

松田 隆史	東北薬大 S61	会田 俊	東薬大 H28
倉本 美紀子	東北薬大 H2	小野 慎史	いわき大 H30
川井 美紀	新潟薬大 H6	渡邊 大輔	奥羽大 H30
安部 一弥	城西大 H16	畠山 瑞季	東北医薬大 H31
横澤 大輔	昭和薬大 H17	岩瀬 希美	国医療大 R2
小島 俊彦	城西大 H17 城西大(修)H19	唐沢 美砂	日薬大 R2
青木 梢太	東北薬大 H24	松村 聡大	東北医薬大 R3
太田 拓希	岐阜薬大 H25		

公立置賜長井病院 〒993-0002 長井市屋城町2番1号 TEL 0238-84-2161 (50床)			
--	--	--	--

鈴木 規子	星薬大 S60	後藤 咲紀	東北薬大 H28
-------	---------	-------	----------

公立置賜南陽病院 〒992-0472 南陽市宮内1204番地 TEL 0238-47-3000 (50床)			
---	--	--	--

泉 妻宏治	東北薬大 S63	安部 優子	東北薬大 H15
-------	----------	-------	----------

医療法人社団緑愛会・川西湖山病院 〒999-0145 東置賜郡川西町大字下奥田3796番地20号 TEL 0238-54-2100 (109床)			
--	--	--	--

山岸 靖彰	帝京大 H8 筑波大(修)H11		
-------	------------------	--	--

社会医療法人公徳会・佐藤病院 〒999-2221 南陽市柵塚948番地1号 TEL 0238-40-3170 (316床)			
---	--	--	--

本柳 達也	明薬大 H24		
-------	---------	--	--

一般財団法人三友堂病院 〒992-0045 米沢市中央6丁目1番219号 TEL 0238-24-3707 (178床)			
--	--	--	--

大石 玲児	日大 S63	中村 新	東北薬大 H21
香坂 和子	東邦大 S54	永井 佑未子	国医療大 H29

氏名	出身大学・卒業年	氏名	出身大学・卒業年
一般財団法人三友堂病院・三友堂リハビリテーションセンター 〒992-0057 米沢市成島町3丁目2番90号 TEL 0238-21-8100 (120床)			
相馬直記	東北薬大 H10	留守克之	東北薬大 S60

公立高畠病院 〒992-0351 東置賜郡高畠町大字高畠386番地 TEL 0238-52-5070 (130床)			
水口真知	東北薬大 H5	阿部秀平	東北薬大 H26
田中幸裕	東北薬大 S63	泉妻颯士	東北医薬大 R4
入間弓佳	東北薬大 H16	白鳥正孝	東北薬大 S58

特定医療法人 舟山病院 〒992-0027 米沢市駅前2丁目4番8号 TEL 0238-23-4435 (194床)			
海老名勇	新潟薬大 S59	勝俣美咲	東北医薬大 H31
渡辺暁子	東北薬大 S54 山形大(修)H22	鬼満知弥	奥羽大 R3
岩崎京子	東北薬大 S53		

米沢市立病院 〒992-8502 米沢市相生町6番地36号 TEL 0238-22-2450 (322床)			
渡邊茂	東北薬大 S63	貴田清孝	北医大 H10 北医大(修)H12
伊藤基江	新潟薬大 S61	赤尾真	北陸大 H17
永井聡	昭和大 H1	青木俊人	北陸大 H25
田中治子	東北薬大 H3	金子恵美	東北薬大 H27
安達健一	東北薬大 H3	目黒俊幸	東大 H2 東大(修)H4
松田尚子	東北薬大 H5	船山洋史	東北医薬大 R2

公徳会米沢こころの病院 〒932-0119 米沢市アルカディア1丁目808番32 TEL 0238-27-0506 (108床)			
齋藤玄一	東北薬大 H4	近野直子	新潟薬大 R2
古川雄彦	東北薬大 S55 東北薬大(修)S57		

独立行政法人国立病院機構 米沢病院 〒992-1202 米沢市大字三沢26100番1号 TEL 0238-22-3210 (220床)			
熊谷学	東薬大 H6 明薬大(修)H14	川村麻由子	道薬大 H15
千葉慧	岩手医大 H28		

小国町立病院 〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの1丁目1番地 TEL 0238-61-1111 (50床)			
長坂幸広	東北薬大 S63	堺和幸	第一薬大 H14

白鷹町立病院 〒992-0831 西置賜郡白鷹町大字荒砥甲501番地 TEL 0238-85-2155 (60床)			
熊谷岳仁	北医大 H16	海老名純子	新潟薬大 S58

特別会員

氏 名 出身大学・卒業年

あおば薬局 〒998-0857 酒田市若浜町5番地1号 TEL 0234-43-1951

福島 雅 幸 日大 H11

山形県庄内総合支庁 〒997-1392 東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 TEL 0235-66-5659

内海 浩 東北薬大 H3 山形大(博)H29

山形県庄内保健所 〒997-1392 東田川郡三川町大字横山字袖東19番地1号 TEL 0235-66-5664

五十嵐 有 里 東北薬大 H7

株式会社 マルタケ 庄内営業所 〒997-1321 東田川郡三川町大字押切新田字足子90番地 TEL 0235-68-2113

庄司 知 摩 城西大 S56

おいのもり調剤薬局 〒994-0013 天童市老野森1丁目5番29号 TEL 023-656-8535

加藤 淳 東北薬大 H6

有限会社メディカ ほし薬局 〒996-0035 新庄市鉄砲町3番地1号 TEL 0233-28-8693

星 利 佳 東北薬大 H3

日新薬品 〒994-0001 天童市万代3-6-2 TEL 023-658-6116

白石 正 東北薬大 S52

アーク調剤薬局 県立中央病院前店 〒990-2214 山形市青柳1561-8 TEL 023-674-0177

生澤 俊太郎 東薬大 H28

さくら薬局 山形馬見ヶ崎店 〒990-0810 山形市馬見ヶ崎四丁目1番19号 TEL 023-674-6826

齋藤 翠 岩手医大 H25

緑町Kokoro薬局 〒990-0041 山形市緑町4-14-63 TEL 023-679-5890

岡 寄 千賀子 北大 S63

ファーコス薬局うわまち 〒990-2483 山形市上町3-11-6 TEL 023-6462-293

土田 昌子 星薬大 H6

ヤマザワ調剤薬局大学病院前店 〒990-2331 山形市飯田西4-4-3 TEL 023-623-6333

松田 一 駿 岩手医大 H29

氏 名 出身大学・卒業年

あさひ薬局 〒999-2241 南陽市郡山877番地3号 TEL 0238-43-2861

小 方 祥 光 東北薬大 H11

杏仁薬局 〒992-0045 米沢市中央6丁目1番223号1 TEL 0238-21-3646

佐々木 小百合 奥羽大 H22

しのぶ調剤薬局 〒992-0059 米沢市西大通2丁目3-61 TEL 0238-26-1755

永 井 孝 尚 九保大 H20

アップル薬局おきたま店 〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚1381-4 TEL 0238-42-6688

伊 藤 成 美 岩手医大 H29

アイン薬局 米沢店 〒992-0033 山形県米沢市福田町2丁目1-54 TEL 0238-26-2622

實 久 茂 樹 大薬大 R3

かすが薬局 〒992-0044 山形県米沢市春日2-3-51 TEL 0238-37-9110

保 坂 知 恵 明薬大 H29

なないろ薬局 〒992-0601 山形県東置賜郡川西町西大塚1446-10 TEL 0238-27-7716

上 野 智 美 東北薬大 H21

武 田 和 也 新潟薬大 H27

長 谷 川 隆 太 城西国大 H20

準 会 員

氏 名 出身大学・卒業年

遠 藤 祐 喜 東薬大 H25
堀 絵 理 東北薬大 H26
海 上 恵理子 東北薬大 H15
筒 井 有 子 北医大 H11 北医大(修)H13
志 田 伸 子 東北薬大 H13
佐 藤 剛 実 帝京大 H4

氏 名 出身大学・卒業年

薄 羽 八 重 金沢大 H7 金沢大(修)H9
高 橋 美和子 金沢大 H11
高 井 啓 一 東薬大 H20
石 山 ふ み 東邦大 S60
鈴 木 薫 金沢大 S59
佐 伯 和 毅 大薬大 H9 大薬大(修)H11

名誉会長・名誉会員・有功会員・顧問

名誉会長

白石 正 東北薬大 S52

名誉会員

星 盛 次 東北薬大 S32
田 中 章 東北薬大 S37
伊 藤 照 代 東北薬大 S36
高 梨 正 晴 東北薬大 S38
細 矢 政 男 東北薬大 S38
鈴木 一 男 東北薬大 S39
竹 田 洋 子 東北薬大 S38
後 藤 利 行 東薬大 S42
遠 藤 智 也 東薬大 S44
東海林 徹 東北薬大 S49
兼 子 紀 子 星薬大 S45
島 津 憲 一 日大 S46

庄 司 好 子 北里大 S46
小笠原 威 東北薬大 S50
鈴木 啓 之 明薬大 S52
武 田 亨 昭和大 S49
佐 藤 秀 樹 東北薬大 S53
岩 瀬 啓 東日本大 S55
大 滝 和 幸 東北薬大 S53
本 間 俊 一 北大 S53
和 田 幸 治 東日本大 S55
豊 口 禎 子 東北大 S51
荒 井 浩 一 新潟薬大 S59

有功会員

細 谷 順 東北大 S57

顧 問

齋 藤 栄 治 日大 S61

一般社団法人山形県病院薬剤師会 賛助会員名簿

(五十音順)

旭化成ファーマ株式会社	株式会社ツムラ
あすか製薬株式会社	帝人ヘルスケア株式会社
アステラス製薬株式会社	テルモ株式会社
アストラゼネカ株式会社	東邦薬品株式会社
アッヴィ合同会社	東北アルフレッサ株式会社
エーザイ株式会社	株式会社東北メディカル
MSD株式会社	東和薬品株式会社
岡崎医療株式会社	トーアエイヨ-株式会社
小野薬品工業株式会社	鳥居薬品株式会社
キッセイ薬品工業株式会社	株式会社 日医工山形
協和キリン株式会社	日医工株式会社
クラシエ薬品株式会社	日新薬品株式会社
健栄株式会社	ニプロ株式会社
興和株式会社	日本イーライリリー株式会社
コーアイセイ株式会社	日本化薬株式会社
サノフィ株式会社	日本血液製剤機構
参天製薬株式会社	日本ケミファ株式会社
サンド株式会社	日本新薬
サンファーマ株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
JCRファーマ株式会社	ノバルティスファーマ株式会社
塩野義製薬株式会社	ノボ ノルディスクファーマ株式会社
株式会社シバタインテック	株式会社バイタルネット
株式会社スズケン	久光製薬株式会社
住友ファーマ	扶桑薬品工業株式会社
ゼリア新薬株式会社	株式会社マルタケ
第一三共株式会社	マルホ株式会社
大正製薬株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
大鵬薬品工業株式会社	持田製薬株式会社
武田薬品工業株式会社	株式会社ヤクルト本社
田辺三菱製薬株式会社	ライフスキャン
中外製薬株式会社	

一般社団法人山形県病院薬剤師会 定款

令和3年3月11日 作 成
令和3年5月21日 変 更

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、一般社団法人山形県病院薬剤師会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を山形県山形市に置く。

2 本会は、理事会の決議によって、従たる事務所を設置することができる。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、一般社団法人日本病院薬剤師会との連携のもと、山形県内の病院、診療所、介護保険施設に勤務する薬剤師の倫理及び学術水準を高め、質の高い薬物療法の確保を図ることにより、山形県民の健康及び福祉の増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 医療安全及び医薬品の適正使用に関する事項
- (2) 薬剤師業務に係る情報の交換及び連絡、調査に関する事項
- (3) 機関誌及び図書等の刊行並びに情報提供に関する事項
- (4) 生涯研修及び各種認定に関する事項
- (5) 学術大会、研修会等の開催及び協力に関する事項
- (6) 行政機関及び関係諸団体との連携及び協力に関する事項
- (7) 薬学教育の向上に関する事項
- (8) 災害時における医薬品の確保及び応急活動に関する事項
- (9) 会員の職能の向上に関する事項
- (10) 会員の地位向上及び待遇改善等に関する事項
- (11) 会員の相互扶助、相互親睦、福利厚生に関する事項
- (12) その他本会の目的を達成するのに必要な事項

第3章 会 員

(会員資格)

第5条 本会の会員は次の通りとする。

- (1) 正会員は、山形県内の病院、診療所、介護保険施設に籍を有し、本会の目的及び事業に賛同する薬剤師
- (2) 特別会員は、本会の目的及び事業に賛同する正会員以外の薬剤師
- (3) 賛助会員は、本会の目的及び事業に賛同し、事業を支援する団体又は個人
- (4) 名誉会員は、本会に特に顕著な功績のあった者で、理事会の推薦と総会の同意を経た者

- (5) 有功会員は、本会に功労のあった者で、理事会の推薦と総会の同意を経た者
- 2 正会員及び特別会員は一般社団法人 日本病院薬剤師会の会員である者とする。
- 3 名誉会員及び有功会員は終身に渡って委嘱することとする。
- 4 前1項第1号の正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律48号、以下「法人法」という）上の社員とする。

(手続き及び任意退会)

第6条 本会に入会しようとする者は、会長に所定の届出をしなければならない。

- 2 会員で退会しようとする者は、会長に所定の届出をすることにより、任意にいつでも退会する事ができる。
- 3 会員でその届出事項に変更を生じた場合は、前2項と同様に、その届出をしなければならない。

(会費等)

第7条 正会員、特別会員及び賛助会員は本会所定の会費及び負担金を支払う義務を負う。

- 2 名誉会員及び有功会員は会費の納入を要しない。
- 3 会費の額及び負担金並びに徴収方法は総会で定める。
- 4 既納の会費及び負担金は理由の如何を問わずこれを返還しない。

(会員資格の喪失)

第8条 第6条及び第9条の場合のほか、会員が次の各号の一に該当するときはその資格を喪失する。

- (1) 死亡したとき及び失踪宣告を受けたとき
- (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき
- (3) 賛助会員資格が消滅又は死亡したとき
- (4) 正会員、特別会員及び賛助会員が正当な理由なくして会費の納入を怠り且つ催告に応じないとき
- (5) 正会員もしくは特別会員が、一般社団法人 日本病院薬剤師会の会員の身分を失ったとき

(除名)

第9条 会員に本会の名誉を毀損し又は本会の目的趣旨に反するような行為があったときは、総会の決議を経て除名することができる。ただし、総会は議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第10条 会員が第6条第2項、第8条及び第9条の規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。ただし、既に発生した未履行の義務は、これを免れることができない。

(正会員の権利)

第11条 正会員は、法人法に規定された次に掲げる権利を本会に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項の権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項の権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第57条第4項の権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (4) 法人法第50条第6項の権利（社員の代理権証明書面等の閲覧等）
- (5) 法人法第51条第4項及び第52条第5項の権利（議決権行使書面の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項の権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項の権利（清算法人の貸借対照表等の閲覧等）

- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項の権利（合併契約等の閲覧等）
- 2 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会对し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第112条の規定にかかわらず、この責任はすべての正会員の同意がなければ免除することができない。

第4章 役員等

(役員の種類及び定数)

第12条 本会に次の役員を置く。

- (1) 理事25名以上30名以内
 - (2) 監事2名以内
- 2 理事のうち、1名を会長、3名以内を副会長とする。
- 3 会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(理事の職務・権限)

第13条 会長は法令及び定款の定めにより本会を代表し、業務を執行する。

- 2 副会長は会長を補佐し、業務を執行する。
- 3 理事は理事会を構成し、職務を執行する。

(監事の職務・権限)

第14条 監事は、次の各号に規定する職務を行う。

- (1) 理事の職務執行を監査する。
- (2) 本会の業務並びに財産及び会計の状況を監査する。
- (3) 総会及び理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べる。
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを理事会に報告しなければならない。
- (5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求する。ただし、その請求があった日から5日以内に、2週間以内の日を理事会とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集することができる。
- (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告する。
- (7) 理事が本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求することができる。
- (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使する。

(役員を選任)

第15条 理事及び監事は、総会で選任する。

- 2 会長、副会長は理事会で選定する。
- 3 理事及び監事は、相互にこれを兼ねることができない。
- 4 各理事について、その理事及び配偶者又は三親等以内の親族等である理事の合計数が、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

5 役員に異動があったときは、2週間以内に登記しなければならない。

(役員等の任期)

第16条 役員等の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。ただし再任を妨げない。

2 欠員として補充された役員等の任期は前任者の残任期間とする。

3 役員等は第12条に定める定数を下回る場合には、任期満了又は辞任により退任した後も後任者が就任するまではその権利義務を有する。

(役員等の解任)

第17条 理事及び監事は総会の決議により、解任することができる。

2 会長、副会長は、理事会の決議により解職することができる。

(取引の制限)

第18条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする本会との取引

(3) 本会がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における本会とその理事との利益が相反する取引

2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない。

(役員等の報酬)

第19条 役員等には、その職務執行の対価として、報酬の支給や費用を弁償することができる。

2 前項の支給や弁償の基準は、総会において定める。

(名誉会長及び顧問)

第20条 本会に名誉会長及び顧問をおくことができる。名誉会長及び顧問は法人法上の役員に該当しない。

2 名誉会長は本会に特に顕著な功績のあった会長のうちから理事会の推薦と総会の同意を経て会長が委嘱し、その任期は終身とする。

3 名誉会長は会務を行わない。

4 顧問は理事会の承認を経て会長が委嘱し、その任期は委嘱した会長の在任期間とする。

5 顧問は会の運営に関し、会長のもとに依り、随時意見を述べるすることができる。

6 名誉会長及び顧問は無報酬とする。

第5章 総 会

(構成等)

第21条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

3 総会を法人法上の社員総会とする。

4 総会は通常総会及び臨時総会とする。

5 通常総会を法人法上の定時社員総会とする。

(開催、招集)

第22条 通常総会は、毎事業年度終了後3か月以内に開催する。ただし、やむを得ない事情のある時

は理事会の決議を経て変更することができる。

2 臨時総会は次の各号の一に該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要であると認めたとき

(2) 正会員の議決権の5分の1以上より会議の目的を記載した書面により開催の請求があったとき

3 総会は理事会の決議に基づき会長が招集する。

4 会長は第2項第2号による請求があったときは、すみやかに臨時総会を招集しなければならない。

5 総会の招集は、開会の1週間前までに開会の日時及び場所並びに会議の目的である事項その他法令で定める事項を記載した通知を正会員に送付することで行う。

(権 限)

第23条 総会は次に掲げる事項及び法人法に定める事項を決議する。

(1) 事業計画及び予算の承認

(2) 事業報告及び計算書類の承認

(3) 理事及び監事の選任及び解任

(4) 理事及び監事の報酬等の額及びその支給基準

(5) 役員の実任の免除

(6) 名誉会員、名誉会長の選任

(7) 会員の除名

(8) 定款の変更

(9) 合併に関する事項

(10) 解散に関する事項

(11) 理事会が付議した事項

(12) その他この定款に定められた事項

2 前項の規定にかかわらず、個々の総会においてはあらかじめ目的として通知された事項以外の事項は決議を行うことができない。

(会議の成立)

第24条 総会は正会員数の過半数が出席しなければ開会することができない。

2 総会に出席できない正会員は、委任状その他代理権を証明する書面を本会に提出して、代理人(他の正会員に限る)にその議決権を代理行使させることができる。この場合、当該総会に出席したものとみなす。

3 名誉会長、顧問、名誉会員は総会に出席することができる。ただし、議決権は有しない。

(議 長)

第25条 総会の議長、副議長は総会ごとに正会員の中から選出する。

(決 議)

第26条 総会の決議は、正会員の過半数が出席し、出席正会員の過半数により行う。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事項の決議は、正会員の半数以上でかつ総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

(1) 監事の解任

(2) 会員の除名

(3) 定款の変更

- (4) 合併に関する事項
- (5) 解散に関する事項
- (6) その他法令で定められた事項

(決議の省略)

第27条 理事又は正会員が総会の目的である事項につき提案した場合において、正会員の全員が提案された議案につき書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その議案を可決する総会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第28条 総会の議事については法令に基づき議事録を作成しなければならない。

- 2 議事録には議長、副議長及び議長が指名した出席正会員2名が記名押印をしなければならない。

第6章 理事会

(構成)

第29条 本会に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。
- 3 監事は、理事会に出席して意見を述べることができる。

(開催、招集)

第30条 理事会は次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めた場合
 - (2) 会長以外の理事から会議の目的を記載した書面により開催の請求があったとき
 - (3) 前号の請求があった日から5日以内に、その日から2週間以内の日を理事会の日とする招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
 - (4) 第14条第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき
- 2 理事会は、会長が招集する。ただし、前項第3号により理事が招集する場合及び前項第4号により監事が招集する場合を除く。
- 3 会長は、第1項第2号又は第4号の規定による請求があったときは、その請求のあった日から2週間以内に理事会を招集しなければならない。この期間が経過しても招集されないときは、各理事又は監事が理事会を招集することができる。
 - 4 理事会の招集は、1週間前までに開会の日時及び場所並びに会議の目的である事項を通知することで行う。
 - 5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、理事会は招集手続を経ることなく開催することができる。

(権限)

第31条 理事会は次に掲げる事項及び法人法に定める職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長の選定及び解職
- (4) その他重要な会務の決定

(会議の成立)

第32条 理事会は議決に加わることができる理事総数の過半数が出席しなければ開会することができ

ない。

(議 長)

第33条 理事会の議長は会長とする。ただし、会長が欠けたとき又は会長に事故あるときは出席理事の中から選出する。

(決 議)

第34条 理事会の決議は、出席理事の過半数により行う。ただし、その決議に特別の利害関係を有する理事は、決議に加わることができない。

(決議の省略)

第35条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、理事の全員が提案した議案につき書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その議案を可決する理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事はその提案に異議を述べたときはこの限りではない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については法令に基づき議事録を作成しなければならない。

2 議事録には出席した会長及び監事が記名押印をしなければならない。

第7章 諮問機関

(会議の種類)

第37条 本会に諮問機関として常務理事会を置く。

2 常務理事会は総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。

(常務理事会)

第38条 常務理事会は会長、副会長をもって組織する。

2 常務理事会は会長、副会長の過半数の出席がなければ開会することができない。

3 常務理事会は理事会より委任された事項及び会長が理事会に付議する事項を協議し、理事会に報告を行う。

4 常務理事会は会長が必要な場合に招集して、その議長となる。

第8章 委員会および部会

(構 成)

第39条 理事会の補助機関として委員会および部会を置くことができる。

2 委員会及び部会は総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。

3 委員会及び部会に委員を置くことができる。

4 委員は理事会の承認を経て会長が委嘱する。

5 委員会及び部会に関して必要な事項は別に定める。

第9章 財産および会計

(財産の種類)

第40条 本会の財産は、基本財産及びその他の財産の2種類とする。

2 基本財産は、本会の目的である事業を行うために不可欠な財産として理事会で定めたものとする。

3 その他の財産は、基本財産以外の財産とする。

(基本財産の維持及び処分)

第41条 基本財産は、本会の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

- 2 やむを得ない理由により基本財産の一部を処分又は基本財産から除外しようとするときは、理事会の決議を得なければならない。

(財産の管理および運用)

第42条 本会の財産の管理及び運用は、会長が行うものとし、その方法は、理事会の決議により別に定める。

(事業年度)

第43条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(剰余金)

第44条 本会は、剰余金の分配を行うことができない。

(会計原則)

第45条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる会計の慣行に従うものとする。

- 2 本会の財産の管理及び会計処理に関し必要な事項は理事会で定める。

(事業計画及び予算)

第46条 事業計画及び予算は、毎事業年度開始前に理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。

(事業報告及び決算)

第47条 事業報告及び計算書類（貸貸対照表、損益計算書（正味財産増減計算書））は、毎事業年度経過後3ヶ月以内に、監事の監査を受け、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。

第10章 事務局

(事務局の設置)

第48条 本会の事務を処理するために事務局を設置する。

- 2 事務局に職員を置くことができる。
- 3 重要な職員は会長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

第11章 定款の変更及び解散等

(定款変更)

第49条 この定款は総会の決議によって変更することができる。

(合併等)

第50条 本会は、総会において、正会員数の半数以上であって、正会員の議決権の3分の2以上の決議により、他の法人法上の法人との合併、事業の全部又は一部の譲渡をすることができる。

(解散)

第51条 本会は総会の決議による他法令で定められた事由により解散する。

(清算)

第52条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）第5条第17号に掲げる法人又は国若

しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第12章 雑 則

(公告方法)

第53条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(細 則)

第54条 この定款に定めるものの他、本会の運営に必要な事項、理事会の決議により別に定める。

(法令の準拠)

第55条 本定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、次の時代へ大胆に伝えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

Asahi**KASEI**

旭化成ファーマ株式会社

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

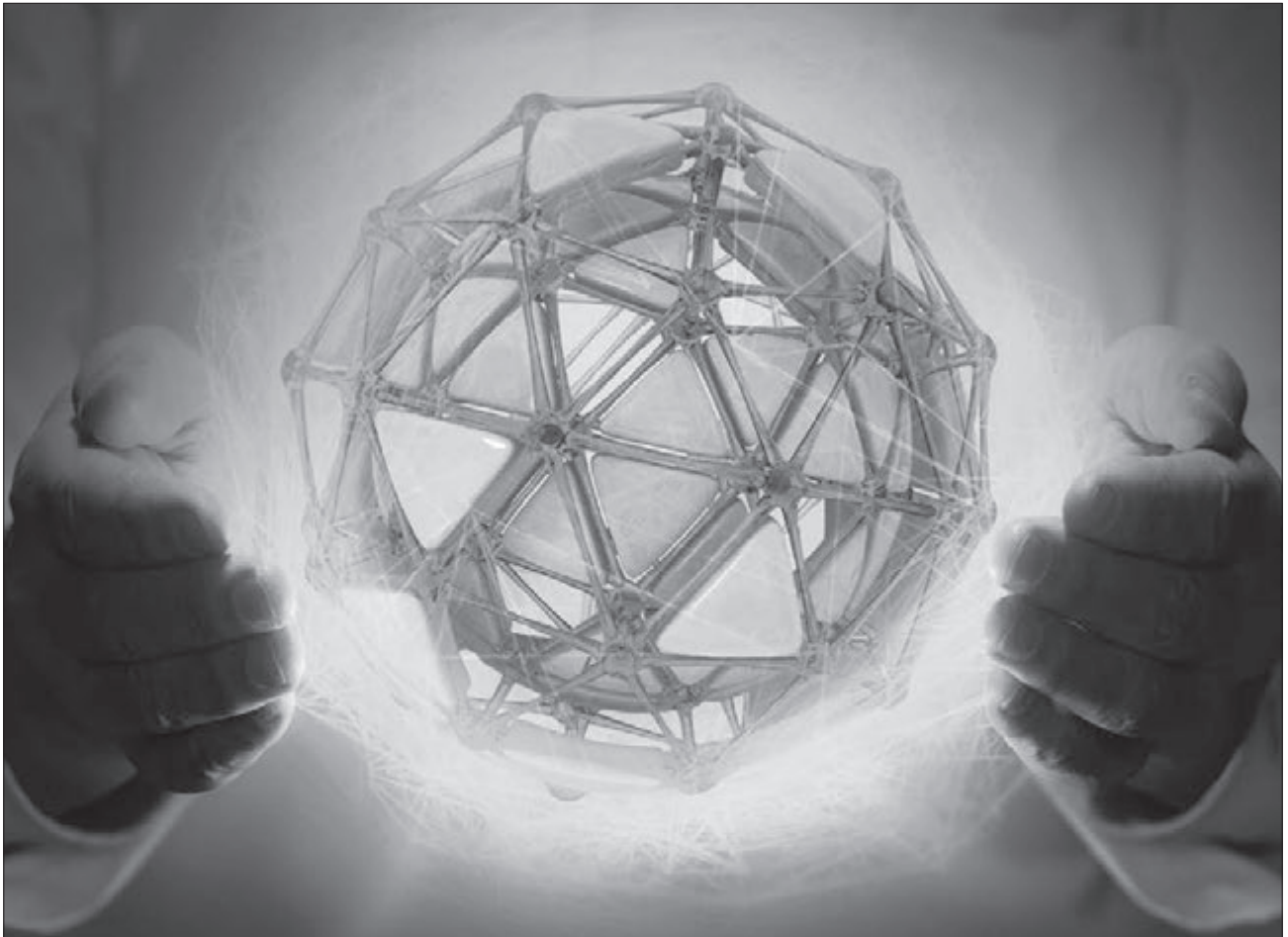
明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬株式会社



高カリウム血症改善剤 薬価基準記載
処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

 **ロケルマ[®]** 懸濁用散分包 5g
10g

ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物
LOKELMA[®] 5g・10g powder for suspension (single-dose package)

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の
注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 [文献請求先]
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号

☎ 0120-189-115
(問い合わせ先フリーダイヤル メディカルインフォメーションセンター)

2021年5月改訂

発売準備中 2022年8月 承認

HMG-CoA還元酵素阻害剤

薬価基準未収載

アトルバスタチン錠 5mg・10mg 「VTRS」

ATORVASTATIN Tablets 5mg・10mg [VTRS]

日本薬局方 アトルバスタチンカルシウム錠
処方箋医薬品^{※1} 注)注意-医師等の処方箋により使用すること



高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬

薬価基準収載

アムロジピン錠 2.5mg・5mg・10mg OD錠 2.5mg・5mg・10mg 「ファイザー」

AMLODIPINE Tablets 2.5mg・5mg・10mg [Pfizer]
AMLODIPINE OD Tablets 2.5mg・5mg・10mg [Pfizer]

日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩錠・アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠
創薬、処方箋医薬品^{※1} 注)注意-医師等の処方箋により使用すること



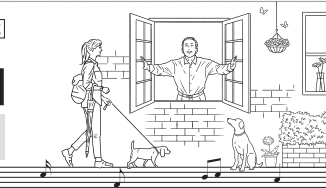
疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症)

薬価基準収載

プレガバリンOD錠 25mg・75mg・150mg 「ファイザー」

PREGABALIN OD Tablets 25mg・75mg・150mg [Pfizer]

プレガバリン口腔内崩壊錠
処方箋医薬品^{※1} 注)注意-医師等の処方箋により使用すること



非ステロイド性消炎・鎮痛剤 (COX-2選択的阻害剤)

薬価基準収載

セレコキシブ錠 100mg・200mg 「ファイザー」

CELECOXIB Tablets 100mg・200mg [Pfizer]

創薬、処方箋医薬品^{※1} 注)注意-医師等の処方箋により使用すること セレコキシブ錠



血圧降下剤

薬価基準収載

ドキサゾシン錠 0.5mg・1mg・2mg・4mg 「ファイザー」

DOXAZOSIN Tablets 0.5mg・1mg・2mg・4mg [Pfizer]

日本薬局方 ドキサゾシンメシル酸塩錠
処方箋医薬品^{※1} 注)注意-医師等の処方箋により使用すること



5-HT_{1B/1D}受容体作動型片頭痛治療剤

薬価基準収載

エレクトリプタン錠 20mg 「ファイザー」

ELETRIPTAN Tablets 20mg [Pfizer]

創薬、処方箋医薬品^{※1} 注)注意-医師等の処方箋により使用すること エレクトリプタン臭化水素酸塩錠



「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元
ファイザーUPJ合同会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

販売元
ヴィアトリス製薬株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

文献請求先及び問い合わせ先:ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号 フリーダイヤル 0120-419-043

UAG72M001B
2022年8月作成



h/c
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



私たちは、薬物治療にとどまらず、食事療法や運動療法など、
糖尿病治療全般に関わる情報提供を、積極的に行ってきました。
今後もさらに、多角的なアプローチで、ソリューションを提供いたします。
糖尿病領域における真のパートナーを目指して——
これまでも、これからも、MSDはチャレンジしつづけます。



MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

2019年1月作成
JAN18AD0013A4-1020



Otsuka-people creating new products for better health worldwide



V₂-受容体拮抗剤

劇薬、処方箋医薬品注 薬価基準収載

サムタス[®] 点滴静注用 8mg
点滴静注用 16mg



Samtasu[®] for I.V. infusion トルバプタンリン酸エステルナトリウム

注)注意—医師等の処方箋により使用すること



V₂-受容体拮抗剤

劇薬、処方箋医薬品注 薬価基準収載

サムスカ[®] OD錠 7.5mg
OD錠 15mg
顆粒 1%

Samsca[®] トルバプタン製剤

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

◇効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元
大塚製薬株式会社
Otsuka 東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先
大塚製薬株式会社 医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'22.05作成〉

25g、100g、200gはチューブ入りで、投薬に便利です。

※無菌製剤ではないので、眼軟膏用基剤として用いる場合は滅菌処理が必要です。

新規格
個包装



軟膏基剤及び皮膚保護剤として

組成 1g中 日局白色ワセリン 1g含有。

用途 軟膏基剤（一般軟膏用基剤、眼軟膏用基剤）として調剤に用いる。 また、皮膚保護剤として用いる。

使用上の注意 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^注	発赤、発疹、痒感等

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

使用時：本剤は無菌製剤ではないので、眼軟膏用基剤として用いる場合は、滅菌処理すること。

包装 25g×10、100g、200g、500g

※その他の詳細については、添付文書をご参照ください。「使用上の注意」の改訂に十分ご注意ください。

[資料請求先]

06-6231-5822 学術情報部まで

作成年月2022年1月



健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号



ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤

イルミア[®] 薬価基準収載
皮下注
100mgシリンジ

ILUMYA[®] チルドラキズマブ(遺伝子組換え)注射液
生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品* *注意-医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 [文献請求先]

サンファーマ株式会社
東京都港区芝公園 1-7-6

お問い合わせ先

くすり相談センター
TEL:0120-22-6880

2021年9月作成



なんとかかしたい。 だから、挑む。

人類の歴史にはさまざまな挑戦者がいた。どんなに失敗しても、彼らの熱意や想いが何度も立ち上がらせ、その結果、常識を打ち破り新しい世界を見せてくれた。医薬はどうだ。空を自由に飛び、宇宙にまで届く時代に、私たちの体の中には未解決の課題が山積している。私たちにはやるべきことがある。助けなければならない人がある。だから、挑む。住友ファーマは、革新的な医薬品や医療ソリューションの研究開発をより加速させる。研究重点3領域の精神神経、がん、再生・細胞医薬に加えて、感染症、糖尿病、医薬品以外のフロンティア領域で存在感を高めるために、挑み続けます。

 **Sumitomo Pharma**
Innovation today, healthier tomorrows



詳しくはこちら



神経障害性疼痛治療剤 薬価基準収載

タリージエ錠 2.5mg・5mg
10mg・15mg

一般名：ミロガバリンベシル酸塩 (Mirogabalin Besilate)
処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等の詳細については、電子添文等をご参照ください。

製造販売元 (文献請求先及び問い合わせ先を含む)
第一三共株式会社
Daichi-Sankyo 東京都中央区日本橋本町3-5-1

2022年3月作成



持続性がん疼痛治療剤 薬価基準収載

ナルサス錠 2mg 6mg
12mg 24mg

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること
ヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠

がん疼痛治療剤 薬価基準収載

ナルラピド錠 1mg
2mg 4mg

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること
ヒドロモルフォン塩酸塩錠

がん疼痛治療用注射剤 薬価基準収載

ナルベイン注 2mg
20mg

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること
ヒドロモルフォン塩酸塩注

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
第一三共プロファーマ株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

販売元 (文献請求先及び問い合わせ先を含む)
第一三共株式会社
Daichi-Sankyo 東京都中央区日本橋本町3-5-1

2021年4月作成



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp





経皮吸収型 持続性がん疼痛治療剤

劇薬、麻薬、処方箋医薬品^{注)}

フェンタニルクエン酸塩 1日用テープ

フェンタニルクエン酸塩テープ剤
Fentanyl Citrate Tape for 1 day

薬価基準収載

0.5mg「テイコク」
1mg「テイコク」
2mg「テイコク」
4mg「テイコク」
6mg「テイコク」
8mg「テイコク」

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については、製品電子添文をご参照下さい。

製造販売元： **帝國製薬株式会社**
〒769-2695 香川県東かがわ市三本松567番地

販売元(資料請求先)： **テルモ株式会社**
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

©テルモ株式会社 2021年10月作成

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

デュロキセチンカプセル20mg「日新」30mg「日新」

処方箋医薬品 薬価基準収載 劇薬

注意—医師等の処方箋により使用すること



不眠症治療薬

エソピクロン錠1mg「日新」2mg「日新」3mg「日新」

習慣性医薬品 処方箋医薬品 薬価基準収載

注意—医師等の処方箋により使用すること



抗アレルギー点眼剤

エピナスチン塩酸塩点眼液0.05%「日新」

薬価基準収載



アドレナリン α 受容体作動薬 緑内障・高眼圧症治療剤

ブリモニジン酒石酸塩点眼液0.1%「日新」

処方箋医薬品 薬価基準収載

注意—医師等の処方箋により使用すること



- ◆ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照下さい。
- ◆ 製品詳細情報などご不明な点がございましたら、弊社MRもしくは下記までお問い合わせ下さい。

【製造販売元】

日新製薬株式会社

〒994-0069 山形県天童市清池東2丁目3番1号
TEL 023-655-2131 FAX 023-655-3419

【発売元】

日新薬品株式会社

〒994-0001 山形県天童市万代3番6-2号
TEL 023-658-6116 FAX 023-658-6118

製品情報お問い合わせ先：日新製薬株式会社 安全管理部 E-mail：d-info@yg-nissin.co.jp

ホームページに、添付文書、IF、製品写真、コード一覧等を掲載しております。 <https://www.yg-nissin.co.jp/>

日新製薬

検索



Authorized
Generic



プロトンポンプ・インヒビター
エソメプラゾールマグネシウム水和物カプセル
処方箋医薬品^注

薬価基準収載

エソメプラゾールカプセル**10mg**「ニプロ」
エソメプラゾールカプセル**20mg**「ニプロ」

(先発・代表薬剤:ネキシウムカプセル10mg・20mg)

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

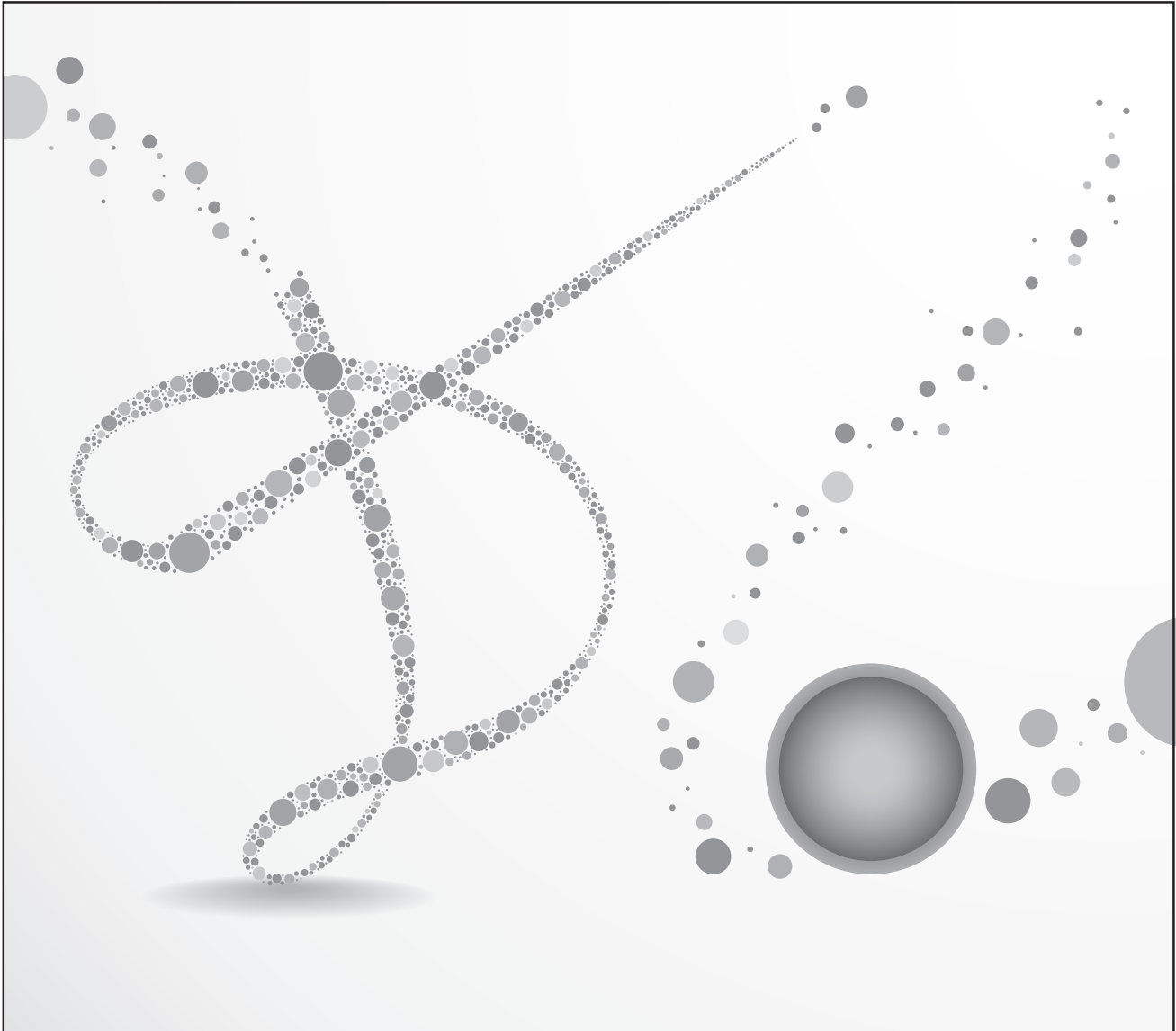
●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」を含む注意事項等情報等の詳細は、電子添文をご参照ください。



製造販売元:ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号
<https://www.nipro.co.jp/>

文献請求先及びお問い合わせ先(医薬品情報室):
TEL:0120-226-898
FAX:06-6375-0177

2022年12月作成(MDX)
[審2211214603]



抗悪性腫瘍剤／有機ヒ素製剤

劇薬・処方箋医薬品^{注)}

薬価基準収載

 **ダルビアス[®] 点滴静注用 135mg**

DARVIAS[®] Injection 135mg

ダリナパルシン注射剤

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

Solasia

製造販売元(輸入)
ソレイジア・ファーマ株式会社
東京都港区芝公園二丁目11番1号

販売  **日本化薬株式会社**
東京都千代田区丸の内二丁目1番1号

文献請求先及び問い合わせ先
日本化薬 医薬品情報センター
0120-505-282

日本化薬 医療関係者向け情報サイト
<https://mink.nipponkayaku.co.jp/>

22.08作成

※効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報は電子添文をご参照ください。



骨粗鬆症治療剤 処方箋医薬品[※]

薬価基準収載

テリパラチド[®]BS皮下注キット600 μ g「モチダ」

Teriparatide BS Subcutaneous Injection Kit 600 μ g MOCHIDA

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

テリパラチド (遺伝子組換え) [テリパラチド後続1]

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等は、添付文書をご参照ください。



MOCHIDA BIOSIMILAR
持田の品質と信頼を より多くの人に



製造販売元<文献請求先及び問い合わせ先>

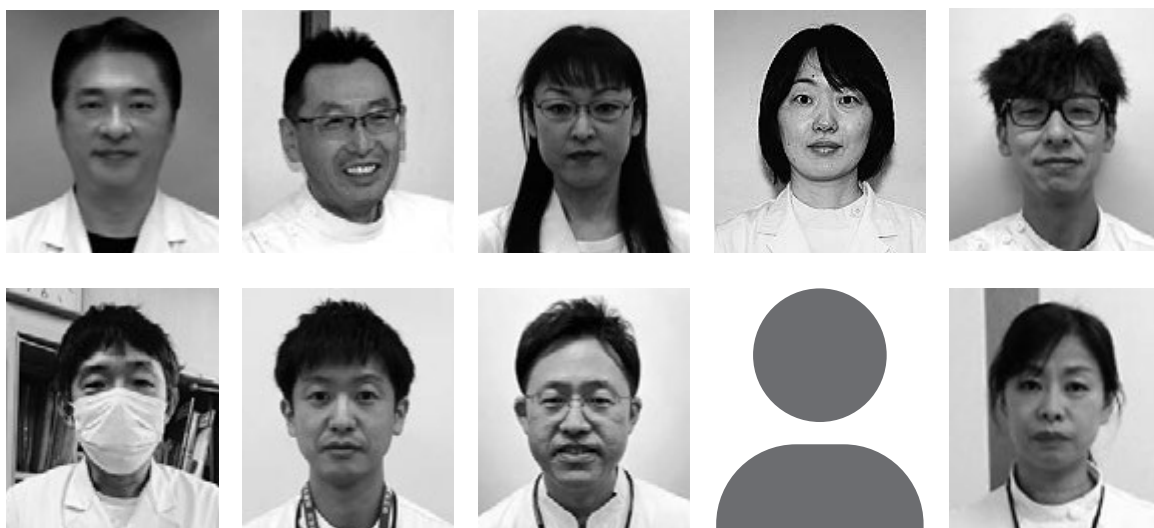
持田製薬株式会社

東京都新宿区四谷1丁目7番地

TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)

2022年3月作成 (N4)

一般社団法人 山形県病院薬剤師会 広報DI委員会



山形済生病院	羽太光範	023(682)1111
北村山公立病院	國井健	0237(42)2111
山形済生病院	板垣有紀	023(682)1111
日本海総合病院	佐藤ゆかり	0234(26)2001
鶴岡市立荘内病院	佐藤拓也	0235(26)5111
山形県立新庄病院	大滝善樹	0233(22)5525
山形大学医学部附属病院	佐藤一真	023(633)1122
山形市立病院済生館	松田圭一郎	023(625)5555
米沢市立病院	目黒俊幸	0238(22)2450
公立置賜総合病院	川井美紀	0238(46)5000

令和5年1月16日発行

発行人 羽太 光範

発行所 一般社団法人 山形県病院薬剤師会
〒990-8545 山形市沖町79-1
社会福祉法人 恩賜財団済生会 山形済生病院薬剤部内
電話 023(682)1111

印刷 株式会社大風印刷
山形市蔵王松ヶ丘1-2-6
電話 023(689)1111